

令和4年版

# 消防年報



天童市消防本部

(令和5年刊行)

天童市市民憲章（昭和四十九年十月一日制定）

わたくしたちは、躍進する天童市の市民です。  
すすんで力をあわせ、愛する郷土の未来をひらきます。

美しいまちをつくりましょう

自然を愛します

まわりをきれいにします

公共物を大切にします

明るいまちをつくりましょう

スポーツに親しみます

公衆衛生を重んじます

安全にくらせるようにします

あたたかいまちをつくりましょう

生涯教育をすすめ、教養を高めます

伝統を育て、文化財を大切にします

親切の輪をひろげ、あたたかく人に接します

豊かなまちをつくりましょう

仕事に生きがいを求めます

よく考えて働きます

たがいに仕事を理解しあいます

住みよいまちをつくりましょう

すすんでまちづくりに参加します

きまりを正しく守ります

たがいに助けあい、仲間づくりをすすめます

天童市市民歌（昭和四十九年十二月一日制定）

作詞 大沼 武  
補作 真壁 仁  
作曲 渡辺 哲哉

一、明けそめる 出羽の山なみ

風青き 村山の野を

そそぎゆく 最上の流れ

野に町に いまおこる

生産の意気

讃えよ われら

若き都市 天童

わがふるさと

二、かぎりなき 夢よ希望よ

手をむすび きずきゆく自治

あたらしき 歴史をめざし

若人の胸ががす

創造の意志

讃えよ われら

自由の都市 天童

わがふるさと

三、いで湯わく 泉さながら

たゆみなく 進みゆく町

伝統の 文化のうえに

きりひらく この未来

建設の意気

讃えよ われら

市民の都市 天童

わがふるさと

## は　じ　め　に

この年報は、令和5年4月1日現在における本市消防の現勢と令和4年中における消防諸般の状況を収録し、消防行政の参考資料にするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編さんしました。

この年報によって本市消防の現状を認識し深く御理解いただければ幸いです。

なお、本誌における統計については、暦年を原則として作成しておりますが、これによらないものについては、記載してある年月日によります。

天童市消防本部

# 目 次

## 1. 天童市の概要

天童市の沿革	1
自然環境	2
人口と世帯数の推移	3

## 2. 総務関係

天童市消防本部・署の沿革	4～7
歴代消防長	8
歴代消防次長	8
歴代消防署長	9
天童市行政組織機構図	10
消防の組織機構図	11
消防職員配置状況	11
消防本部の分掌事務	12～13
消防署の所掌事務	13
消防予算	14
消防職員年齢及び階級別職員数	15
消防職員の階級別勤続年数	15
消防力の整備指針に関する概要	16
消防職員消防学校等入校調	17
消防職員教育実施状況	18
消防職員特殊技能資格取得状況	19

## 3. 消防施設・機械器具

消防庁舎の概要	20
消防本部・署車両の現有状況	21
主な救助隊装備資器材	22～24
地区別消防水利設置状況	25
通信施設等概要	26
高機能消防指令センターによる災害通報の受付から出場までの指令業務	27

## 4. 予 防

防火対象物	28
消防用設備等設置現況	29
各種届出受理状況	30
危険物製造所等施設数	31
危険物製造所等規制事務申請件数	31
危険物施設の推移(過去 15 年間)	32
建築同意	33
危険物取扱者試験準備講習状況	33

## 5. 警 防

災害等受信状況	34
災害等緊急出場状況	35
その他の緊急出場状況	36
その他の出場状況	37
訓練実施状況	38
防火対象物等消防訓練実施状況	39
災害等出場状況(消防団)	40
降雪・積雪記録	41
累積降雪量	41
月別気象統計表	42
月別気温	43
最高・最低気温と平均気温	43
最大風速と平均風速	43

## 6. 火 災 統 計

火災発生状況(前年との比較)	44
月別火災発生状況	45
曜日別火災発生状況	45
時間別火災発生状況	46
原因別火災発生状況	47
火災の覚知別件数	47
出 火 率	48
過去 10 年間の火災件数	48
天童市の主な火災記録	49~52

## 7. 救急・救助統計

救急出場件数(前年との比較) .....	53
月別・事故別出場件数と搬送人員 .....	54
救急隊員の行った応急処置 .....	55
医療機関別搬送人員 .....	56
時間別出場状況 .....	57
年齢・性別・事故別搬送人員 .....	57
事故別・傷病程度別搬送人員 .....	58
曜日別出場件数・搬送人員 .....	58
月別出場件数 .....	59
発生場所別搬送人員 .....	60
覚知から収容までの時間 .....	60
覚知から現場到着所要時間別出場件数 .....	61
覚知状況 .....	61
過去 10 年間の出場件数及び搬送人員の推移 .....	62
応急手当普及啓発活動状況 .....	62
救助出場の状況 .....	63
事故別救助活動件数及び救助人員 .....	63

## 8. 消 防 団

消防団の沿革 .....	64～65
歴代消防団長 .....	66
歴代消防副団長 .....	66
消防団の組織図 .....	67
消防分団管轄図 .....	67
年齢及び階級別消防団員数 .....	68
消防団員の報酬等 .....	69
在職年数別消防団員数 .....	69
消防団員の退職・新任状況 .....	69
消防団機械器具の現有状況 .....	70～74

# 天童市の概要





# 天童市の沿革

天童の地名は、南北朝時代に、南朝方の北畠天童丸が居を構えたことに由来するといわれていますが、天から童が舞い降りたという伝説も語り継がれています。

本市の歴史的開拓を見ると、今から 1,200 年以前に天童温泉の付近に農耕を営んだ者がいて、そこに居住跡の文化財を残しました。

市内の文化経済の発展を眺めると、現在、市の中心街をなしている天童は、古くから羽州街道の宿場町として栄え、市の東端に位置する水晶山大和神社が、貞観 13 年(871 年)に従五位下に叙せられたことから見ても、付近一帯の中心をなしていたことが考えられます。

また、市の西端で最上川沿岸にある寺津地区は、天正 8 年(1580 年)最上川の舟着場として大いに賑わい、明治 34 年に奥羽本線が開通するまで、遠く京都など上方との文化・経済交流が活発に行われました。

天童市の行政区域は、昭和 29 年 10 月 1 日に 1 町 6 か村が合併して新天童町が生まれ、昭和 33 年 10 月 1 日市制を施行し、さらに昭和 37 年 10 月 20 日には隣接する豊栄村と合併を経て、今日に至っています。

市制施行以来、気候的・地理的な好条件を生かしながら、土地区画整理事業や下水道事業にいち早く着手し、生活環境の向上と産業基盤の受け皿づくりを進めながら、都市機能の整備充実に努めてきました。

このことにより、これまで高水準の人口の伸びを保ちながら発展し、近年は少子高齢化の伸展により人口の増加に陰りが出始めたものの、人口が 60,810 人、世帯数 22,892 世帯(令和 5 年 3 月 31 日現在)を擁し、活力のあるまちとして着実な発展を遂げています。

第七次天童市総合計画に掲げる天童市の将来像「笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市～ともに明日をひらくてんどう～」の実現を目指して、全力を挙げて市民が主役の市政に取り組んでおります。

# 自 然 環 境

## 位 置

天童市は、北緯 38 度 21 分、東経 140 度 23 分の地点を中心に、山形県の中央東寄りに位置しています。東は奥羽山脈を境に宮城県と接し、西は日本三大急流の一つの最上川を境に寒河江市、北は乱川を境に東根市、そして南は立谷川を境に県都山形市に接しています。

また、交通面では、J R 東日本奥羽本線(山形新幹線)が南北に走り、同じく南北に縦走する国道 13 号と東の仙台市につながる国道 48 号が市の中心部で交わり、山形空港まで車で 10 分という交通の要衝になっています。

## 地 勢

地勢は山間部と平地部にほぼ二分され、東半分は奥羽山脈の一部をなす山地で、面白山(1,246m)、雨呼山(905m)などの山々が連なっています。

これらの山地からの河川は西に流れ、乱川と立谷川の 2 つの扇状地を形成しています。

平地部は、標高 85m から 110m の所にあり、中央部は、水はけが良く耕作に適し、扇端部は水量が豊富で水田に適しています。

市の中心部を倉津川が流れ、舞鶴山(241.6m)、八幡山(203m)、越王山(225.8m)が出羽三森を形づくっています。

## 面 積

総面積は、113.02 平方キロメートルで、東西に 18.4 キロメートル、南北に 10.6 キロメートルの広がりをもっています。

## 気 候

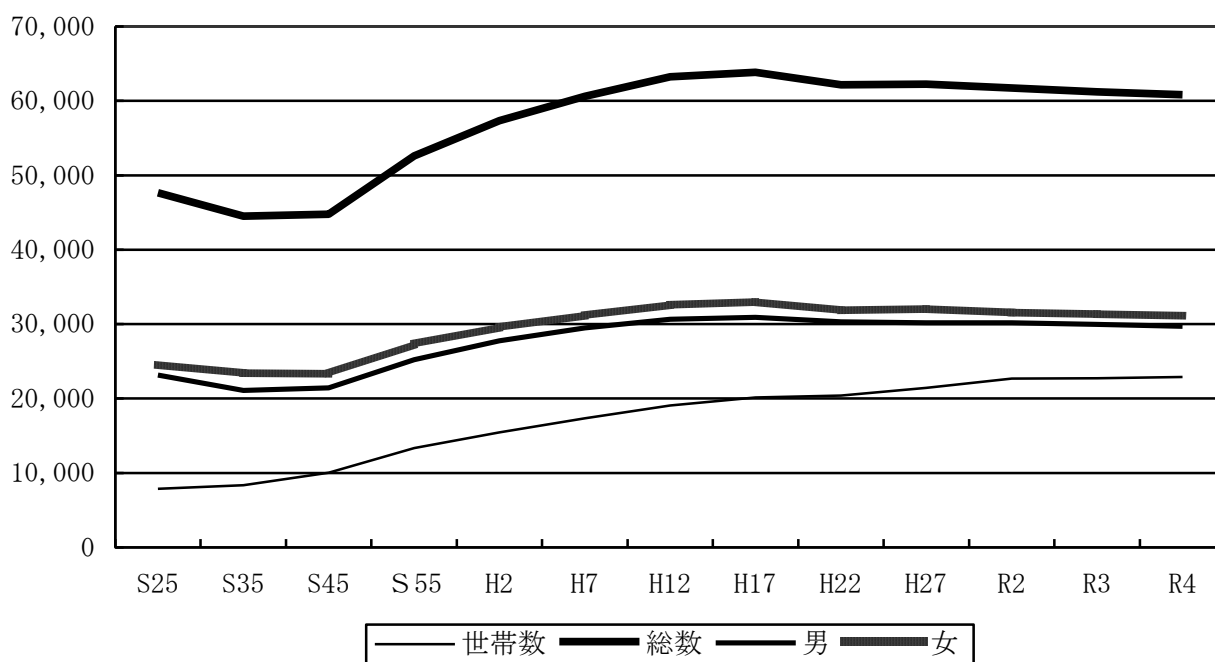
気候は、内陸性気候の特色を持ち、年間降水量は 951.5 ミリ(令和 4 年)となっております。雪国といわれる山形県の中では、最も雪の少ない、自然に恵まれた地域といえます。年間平均気温は 13.0 度で、零下 5 度を下まわることはほとんどありません。

春の気温上昇は比較的早く、桜は 4 月中旬に開花します。梅雨期の降水量は、それほど多くなく、真夏の期間は 40 日前後で、7 月下旬から 8 月にかけて高温の日が続きます。秋の訪れは急で、9 月の後半から気温が下がり、10 月下旬には紅葉が始まります。本格的な冬は 12 月中旬から 3 月中旬までです。

## 人口と世帯数の推移

年次	世帯数	人 口			一世帯当たりの人口
		総数	男	女	
平成 25 年	7,858	47,674	23,144	24,530	6.07
35	8,344	44,521	21,091	23,430	5.34
45	10,016	44,758	21,442	23,316	4.47
55	13,358	52,597	25,240	27,357	3.94
平成 2 年	15,464	57,339	27,764	29,575	3.71
7	17,330	60,626	29,472	31,154	3.50
12	19,077	63,231	30,661	32,570	3.31
17	20,146	63,864	30,903	32,961	3.17
22	20,404	62,214	30,148	32,066	3.05
27	21,448	62,236	30,194	32,042	2.90
令和 2 年	22,681	61,735	30,175	31,560	2.72
3	22,731	61,239	29,943	31,350	2.69
4	22,892	60,810	29,695	31,115	2.66

※ 天童市制施行 昭和 33 年 10 月





# 総務関係



## 天童市消防本部・署の沿革

- 昭和 16 年 4 月 火災期における警戒のため、季節常備として職員 4 名を配置
- 昭和 18 年 5 月 戦争末期における情勢に対処し、警防団の常備部が発足
- 昭和 19 年 4 月 天童町消防所となり、職員 4 名増員
- 昭和 22 年 12 月 消防組織法が公布
- 昭和 23 年 7 月 消防法が公布
- 昭和 26 年 3 月 消防組織法の一部改正が行われ、消防本部等の設置が義務化
- 昭和 29 年 10 月 町村合併促進法により、1 町 6 か村が合併し、新天童町が誕生
- 昭和 31 年 4 月 天童町消防所を廃止し、「天童町消防本部設置条例」及び「天童町消防本部等に関する条例」を公布、消防長(町長兼任)、消防署員 15 名、ポンプ自動車 1 台配備
- 6 月 職員 4 名増員、総員 19 名となる。
- 昭和 32 年 5 月 近隣市町(山形市、東根市、村山市、尾花沢市、豊栄村、大石田町、河北町)と火災相互応援協定を締結、職員 1 名の増員、職員 20 名となる。
- 昭和 33 年 10 月 市制施行、県下 10 番目
- 昭和 37 年 10 月 豊栄村と合併
- 昭和 38 年 2 月 消防本部、消防団、日本消防協会から竿頭綬を授受
- 3 月 「天童市消防賞じゅつ金条例」「天童市防災会議条例」「天童市災害対策本部条例」を公布
- 昭和 39 年 3 月 消防本部、消防団、山形県知事から表彰旗を授受
- 9 月 ライトバン(トヨタ)の配置により、任意的に救急業務を開始
- 昭和 41 年 6 月 国消 150F 型 10W 無線機配置周波数 148.21MHz
- 昭和 42 年 9 月 職員定数条例を改正、消防職員の定数が 32 名となる。
- 昭和 43 年 1 月 救急車(トヨタ F S 45V 型)を配置し、本格的に救急業務を開始
- 9 月 救急業務の政令指定となる。
- 昭和 44 年 3 月 消防本部、消防団、消防庁長官から竿頭綬を授受
- 10 月 「天童市消防本部設置条例」「天童市消防審議会条例」を公布旧設置等条例を廃止
- 昭和 46 年 3 月 化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型、いすゞ)を購入
- 5 月 消防庁舎が老野森一丁目に新築落成し業務を開始
- 6 月 職員定数条例を改正、消防職員の定数が 46 名となる。
- 昭和 47 年 3 月 消防署、警察署間に直通電話を敷設
- 5 月 消防司令車(日産・スカイラインバン)を購入
- 9 月 山形県、天童市主催による山形県総合防災訓練が温泉街を中心に実施
- 11 月 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(BD-1 型、日産)の寄贈を受ける。
- 昭和 48 年 6 月 (財)日本船舶協会から防犯広報車(日産・グロリア)の寄贈を受ける。
- 10 月 「天童市火災予防条例」が公布され、昭和 49 年 1 月 1 日から施行
- 昭和 51 年 3 月 日本損害保険協会から救急車(2-B、日産)の寄贈を受ける。

- 昭和 52 年 4 月 市内クレーン業者と高層建物災害時協力について応援協定を締結  
6 月 「天童市災害弔慰金の支給に関する条例」が公布  
12 月 山形県農業共済組合連合会から救急車(2-B 型)の寄贈を受ける。
- 昭和 53 年 4 月 山形県広域消防相互応援協定を締結  
9 月 職員定数条例を改正、消防職員の定数が 50 名となる。
- 昭和 54 年 4 月 山形空港及びその周辺における航空機事故の連絡調査に関する協定締結  
12 月 救助工作車(日産、三井)購入
- 昭和 55 年 3 月 消防署の一斉通報装置を設置し緊急連絡及び市民への「お知らせ」の近代化を図る。
- 昭和 57 年 6 月 日本船舶協会から広報車の寄贈を受ける。  
8 月 日本消防協会から救急車(2-B、日産)の寄贈を受ける。
- 昭和 58 年 3 月 普通型消防ポンプ自動車(CD-II 型、いすゞ)を購入  
5 月 消防司令車を更新(トヨタ、マーク II)
- 昭和 59 年 3 月 消防本部、消防団、消防庁長官から表彰旗を授与  
10 月 24 メートルはしご付消防ポンプ自動車(三菱、森田ポンプ)を購入
- 昭和 60 年 3 月 日本損害保険協会から救急車(2-B、トヨタ)の寄贈を受ける。  
8 月 日本損害保険協会から広報車(三菱、ギャラン)の寄贈を受ける。
- 昭和 61 年 1 月 化学消防ポンプ自動車(II 型、三菱)を更新  
8 月 日本船舶協会から防犯広報車(日産、ADバン)の寄贈を受ける。
- 昭和 62 年 4 月 職員定数条例を改正、消防職員の定数が 56 名となる。  
8 月 消防庁舎落成、10 日から業務開始  
9 月 自動火災報知設備監視装置の業務を開始(旅館、ホテル、病院など 26 施設)
- 昭和 63 年 9 月 仙台市と消防相互応援協定を締結
- 平成 元年 2 月 救助業務強化のため、クレーン車(20t 級、タダノ)を購入  
3 月 救助工作車(II 型、日野)を更新、旧車を三分団に配置する。
- 平成 2 年 10 月 日本損害協会から救急車(2-B 型、トヨタ)の寄贈を受ける。
- 平成 3 年 7 月 日本損害協会から水槽付消防ポンプ自動車(水 1-B 型、いすゞ)の寄贈を受ける。  
8 月 山形県、天童市主催による山形県総合防災訓練が市役所を中心に実施
- 平成 4 年 9 月 日本防火協会から広報車「防火号(トヨタハイエース)」の寄贈を受ける。  
10 月 第 47 回国民体育大会「べにばな国体」及び第 28 回全国身体障害者スポーツ大会「輝きのべにばな国体」が開催(消防警備業務担当)
- 平成 6 年 2 月 火災監視用テレビカメラが庁舎屋上に設置  
8 月 全国消防救助技術大会に出場(ロープ登はんの部、多田明和消防士)  
11 月 消防司令車(三菱、シャリオ)を更新
- 平成 7 年 3 月 普通型消防ポンプ自動車(CD-I 型、三菱)を購入  
11 月 山形県消防広域応援隊に関する覚書を締結
- 平成 8 年 2 月 高規格救急自動車を購入  
4 月 救急救命士配置  
9 月 けん引式中型放水砲(10kg/c m<sup>2</sup>-2, 400 L/min)を購入



- 平成 9 年 3 月 消防無線全国共通波を整備導入(全共 1「150.73MH z」全共 2「148.75 MH z」全共 3「154.15MH z」)
- 平成 11 年 1 月 地図検索装置更新(ナショナル)
- 平成 13 年 3 月 日本損害保険協会から高規格救急自動車(トヨタハイメディック)の寄贈を受ける。
- 平成 14 年 9 月 東北中央自動車道による消防相互応援協定に関する覚書を締結  
9 月 高速自動車道における救急業務に関する覚書を締結  
12 月 小型動力ポンプ付水槽車(B-2 級、いすゞ)の更新
- 平成 16 年 7 月 新潟・福島豪雨災害に緊急消防援助隊として出動  
10 月 新潟県中越地震に緊急消防援助隊として出動
- 平成 17 年 2 月 高機能消防指令センター(I 型)が完成  
12 月 J R 東日本羽越線列車事故に山形県消防広域応援隊として出動
- 平成 18 年 3 月 携帯 119 番直接受信となる。  
8 月 宝くじ協会から訓練指導車(マツダタイタン)の寄贈を受ける。  
10 月 救助工作車(II 型)を更新  
12 月 消防署の隣接地を購入し、水防倉庫(59.54 m<sup>2</sup>)を新築
- 平成 19 年 4 月 職員定数条例を改正、消防職員の定数が 62 名となる。  
9 月 山形県・天童市合同総合防災訓練を市中部地区で実施
- 平成 20 年 1 月 高規格救急車更新及び高度救命用資機材を整備  
6 月 岩手・宮城内陸地震に緊急消防援助隊として出動
- 平成 21 年 2 月 水槽付消防ポンプ自動車(II 型、日野自動車)の更新  
11 月 普通型消防ポンプ自動車(CD-I 型、日野自動車)の更新
- 平成 22 年 1 月 災害搬送車(トヨタコースター)を購入  
8 月 全国消防救助技術大会に出場(ロープブリッジ渡過の部、木本修消防士)
- 平成 23 年 3 月 東北地方太平洋沖地震に緊急消防援助隊として出動  
3 月 35m 級先端屈折水路付はしご自動車の更新
- 平成 24 年 8 月 全国消防救助技術大会に出場(ロープブリッジ渡過の部、早川雄大消防士)
- 平成 25 年 2 月 消防庁舎に太陽光発電(総発電量 10.5kW)、太陽光蓄電設備(15kWh)を設置  
3 月 高規格救急車及び高度救命用資機材を整備  
3 月 消防救急デジタル無線(活動波 1・2、主運用波、統制波 1・2・3)を整備  
3 月 消防救急デジタル無線簡易基地局(活動波 1)を田麦野地区に整備  
8 月 全国消防救助技術大会に出場(ロープ応用登はんの部、木本修消防士・赤塚祐太朗消防士)
- 平成 26 年 2 月 消防指揮隊車両(トヨタハイエース)を購入
- 平成 28 年 4 月 職員定数条例を改正、消防職員の定数が 70 名となる。
- 平成 29 年 2 月 消防救急デジタル無線簡易基地局(活動波 1)を蔵増地区に整備  
3 月 高機能消防指令センター(I 型)の更新
- 平成 30 年 12 月 女子仮眠室を整備  
12 月 倉庫を更新

- 平成 31 年 1 月 化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型、日野自動車)の更新
- 令和 元年 12 月 火災原因調査車(トヨタハイエース)を購入
- 12 月 高規格救急車及び高度救命用資機材を整備
- 令和 2 年 12 月 消防指揮隊車両(トヨタランドクルーザープラド)を購入
- 令和 3 年 1 月 総務省消防庁から高機能救命ボートを無償貸与
- 6 月 ドローンを購入
- 9 月 災害情報収集車(ダイハツハイゼットカーゴ)を購入
- 12 月 高規格救急車及び高度救命用資機材を整備
- 令和 4 年 11 月 一般社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車(トヨタハイメディック)の寄贈を受ける。
- 令和 4 年 12 月 職員定数条例を改正、消防職員の定数が 72 名となる。
- 令和 5 年 3 月 庁舎内装改修工事实施。浴室を個室シャワー室に改修。

## 歴代消防長

歴代	氏名	在職年数	在職期間	摘要
初代	平塚二郎	6.7	S 31. 4 ~ S 37. 10	市長(兼)消防長
2代	阿部金蔵	17.5	S 37. 11 ~ S 55. 3	〃
3代	篠原盛男	3.0	S 55. 4 ~ S 58. 3	
4代	村山伝吉	2.0	S 58. 4 ~ S 60. 3	
5代	清野昭治郎	3.0	S 60. 4 ~ S 63. 3	
6代	太賀幸作	2.0	S 63. 4 ~ H 2. 3	
7代	佐藤康一	2.0	H 2. 4 ~ H 4. 3	
8代	村山健吉	2.0	H 4. 4 ~ H 6. 3	
9代	佐藤顯一郎	4.0	H 6. 4 ~ H 10. 3	
10代	大沼利成	1.0	H 10. 4 ~ H 11. 3	
11代	矢野建史	3.0	H 11. 4 ~ H 14. 3	
12代	渡邊渡貴雄	2.0	H 14. 4 ~ H 16. 3	
13代	山口勝雄	2.0	H 16. 4 ~ H 18. 3	
14代	安喰順一	1.0	H 18. 4 ~ H 19. 3	
15代	大沼武	1.0	H 19. 4 ~ H 20. 3	
16代	伊藤正雄	2.0	H 20. 4 ~ H 22. 3	
17代	三瓶幸雄	1.0	H 22. 4 ~ H 23. 3	
18代	荒澤三滋	1.0	H 23. 4 ~ H 24. 3	
19代	武田忍	1.0	H 24. 4 ~ H 25. 3	
20代	三浦正行	1.0	H 25. 4 ~ H 26. 3	
21代	野口忠司	1.0	H 26. 4 ~ H 27. 3	
22代	工藤仁	1.0	H 27. 4 ~ H 28. 3	
23代	高橋正義	2.0	H 28. 4 ~ H 30. 3	
24代	新関知己	2.0	H 30. 4 ~ R 2. 3	
25代	松田豊太	1.0	R 2. 4 ~ R 3. 3	
26代	高麗邊貞市	1.0	R 3. 4 ~ R 4. 3	
27代	松田健一	1.0	R 4. 4 ~ R 5. 3	
28代	結城誠一郎		R 5. 4 ~	

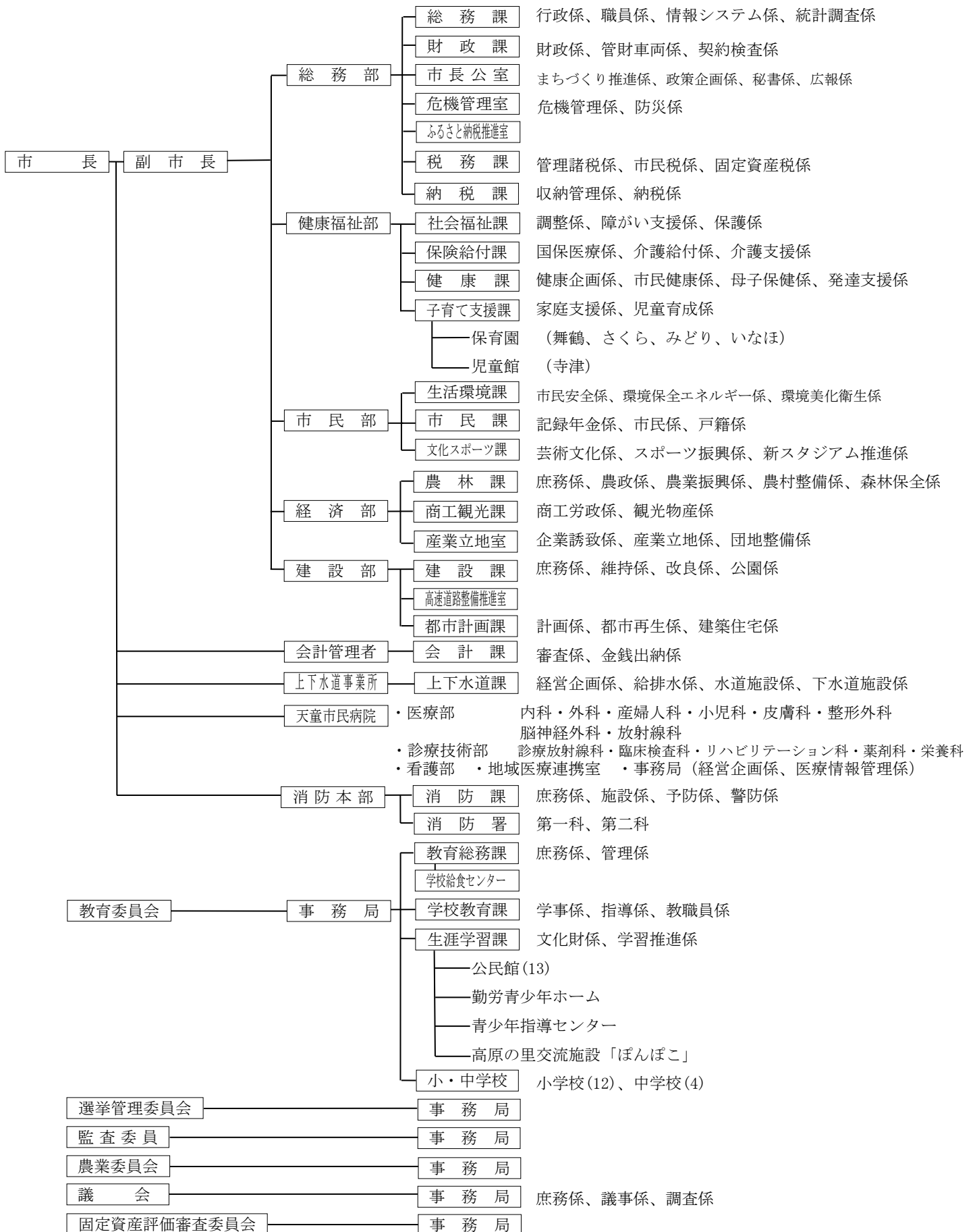
## 歴代消防次長

歴代	氏名	在職年数	在職期間	摘要
初代	佐藤 茂	2.3	S 44. 9 ~ S 46. 12	非常勤
2代	伊藤 正雄	1.0	H 19. 4 ~ H 20. 3	H18. 4~ (兼)消防署長
3代	長岡 清	1.0	H 20. 4 ~ H 21. 3	
4代	高麗邊 貞市		R 4. 4 ~	

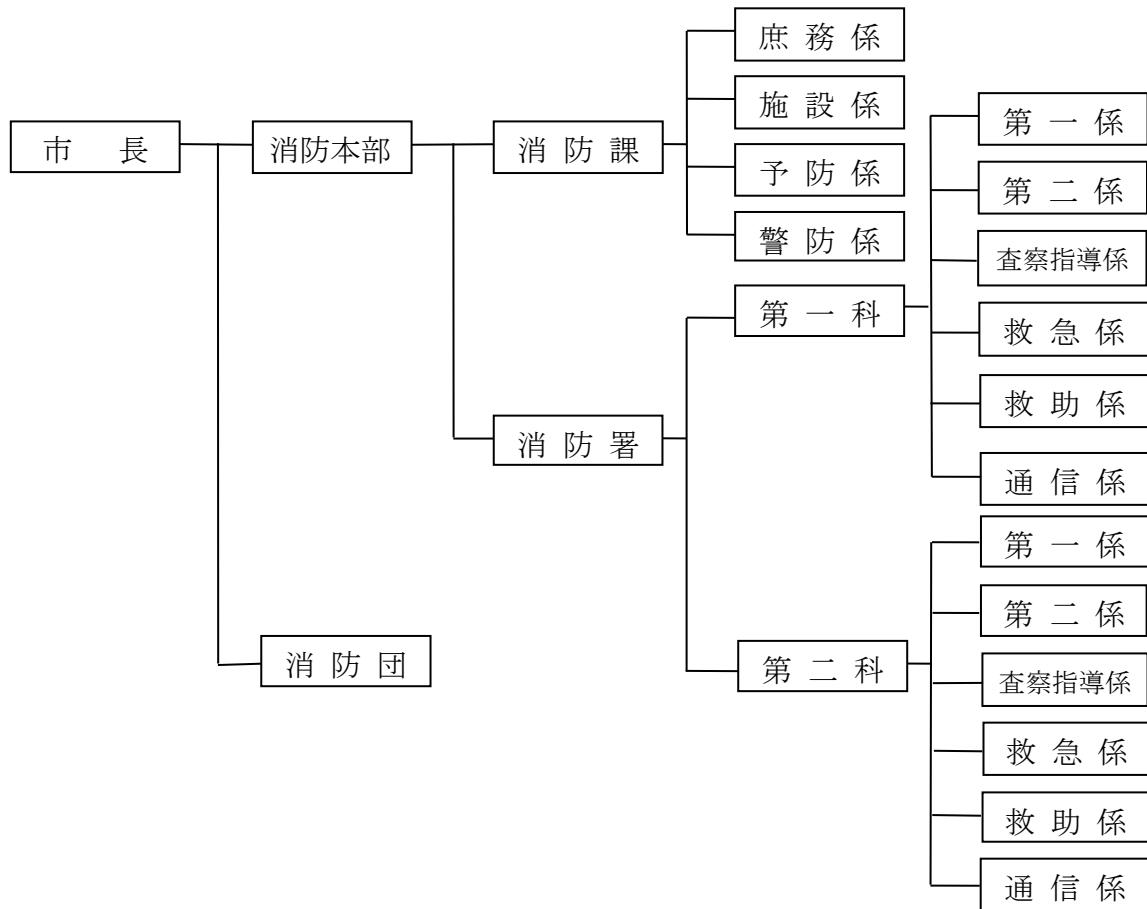
## 歴代消防署長

歴代	氏名	在職年数	在職期間	摘要
初代	梅津 貢	5.0	S 31. 4 ~ S 36. 3	
2代	佐藤 茂	5.7	S 36. 4 ~ S 41. 11	(兼)庶務課長 S39. 4. 1~
3代	長谷川 吾一	5.9	S 41. 12 ~ S 47. 10	S45. 7. 1~総務課長に変更
4代	篠原 盛男	2.5	S 47. 11 ~ S 50. 6	
5代	後藤 善次郎	0.7	S 50. 7 ~ S 51. 1	
6代	工藤 英基	1.2	S 51. 2 ~ S 52. 3	
7代	津藤 権七	1.0	S 52. 4 ~ S 53. 3	
8代	大沼 弘太郎	2.0	S 53. 4 ~ S 55. 3	
9代	篠原 盛男	2.0	S 55. 4 ~ S 57. 3	消防長(兼)消防署長
10代	結城 和郎	7.0	S 57. 4 ~ H 元. 3	(兼)総務課長
11代	三瓶 英祐	6.0	H 元. 4 ~ H 7. 3	(兼)総務課長
12代	手塚 稔	1.0	H 7. 4 ~ H 8. 3	
13代	鈴木 芳孝	1.0	H 8. 4 ~ H 9. 3	
14代	近野 昭一	5.0	H 9. 4 ~ H 14. 3	
15代	庄司 征夫	3.0	H 14. 4 ~ H 17. 3	
16代	安喰 順一	1.0	H 17. 4 ~ H 18. 3	
17代	伊藤 正雄	2.0	H 18. 4 ~ H 20. 3	
18代	三瓶 幸雄	2.0	H 20. 4 ~ H 22. 3	
19代	三浦 正行	3.0	H 22. 4 ~ H 25. 3	
20代	工藤 仁	2.0	H 25. 4 ~ H 27. 3	
21代	佐藤 光則	3.0	H 27. 4 ~ H 30. 3	
22代	原田 啓之	2.0	H 30. 4 ~ R 2. 3	
23代	瀬野 充	2.0	R 2. 4 ~ R 4. 3	
24代	小澤 亘		R 4. 4 ~	

# 天童市行政組織機構図



## 消 防 の 組 織 機 構 図



## 消 防 職 員 配 置 状 況

所属別		階級別		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
		合 計								
消 防 本 部	消 防 長	1	1							
	消 防 次 長	1		1						
	消 防 課	消 防 課 長	1		1					
		庶 務 係	3		1	1	1			
		施 設 係	1		1					
		予 防 係	4		1	1	2			
		警 防 係	1		1					
		小 計	12	1	6	2	3			
		消 防 署	消 防 署 長	1		1				
	第 一 科		28		7	4	6	6	5	
	第 二 科		27		7	4	7	4	5	
	小 計		56		15	8	13	10	10	
	合 計		68	1	21	10	16	10	10	

# 消 防 本 部 の 分 掌 事 務

## 1 庶 務 係

- (1) 消防本部の組織及び運営に関すること。
- (2) 予算及び決算に関すること。
- (3) 職（団）員の任免、給与、服務、分限、懲戒等の事務に関すること。
- (4) 職（団）員の福利、厚生及び公務災害に関すること。
- (5) 職（団）員等の報償及び表彰に関すること。
- (6) 公印の保管に関すること。
- (7) 職員等の被服貸与に関すること。
- (8) 文書及び物品の收受発送に関すること。
- (9) 消防団に関すること。
- (10) 消防審議会に関すること。
- (11) 他の係の所掌に属しないこと。

## 2 施 設 係

- (1) 消防施設の整備計画に関すること。
- (2) 消防施設の維持管理に関すること。
- (3) 通信施設の整備保全に関すること。
- (4) 消防機械及び器具の整備保全に関すること。
- (5) その他消防施設及び装備に関すること。

## 3 予 防 係

- (1) 建築物の建築確認申請に伴う消防同意事務に関すること。
- (2) 危険物施設の許認可、指導等に関すること。
- (3) 消防用設備等の設置届の検査指導に関すること。
- (4) 危険物の保安に関すること。
- (5) 火災予防計画及び普及宣伝に関すること。
- (6) 火災の調査及び危険物に係る流出等の事故の原因の調査に関すること。
- (7) 火災報告に関すること。
- (8) 消防用設備点検報告の届出に対する審査及び指導に関すること。
- (9) 防火対象物の定期点検報告制度に伴う立入調査及び指導に関すること。
- (10) 火薬類（煙火に限る。）の規制に関すること。
- (11) 液化石油ガスの規制に関すること。
- (12) その他火災の予防に関すること。

#### 4 警 防 係

- (1) 消防計画及び訓練に関する事。
- (2) 水防計画及び訓練に関する事。
- (3) 火災警報発令に関する事。
- (4) 気象情報の収集連絡に関する事。
- (5) 災害情報の収受連絡に関する事。
- (6) 職（団）員の教養訓練に関する事。
- (7) その他警防に関する事。

#### 消 防 署 の 所 掌 事 務

- (1) 火災の予防、警戒及び防ぎよに関する事。
- (2) 消防対象物の立入検査及び指導に関する事。
- (3) 機械器具の手入れ及び保管に関する事。
- (4) 消防水利の調査及び確保に関する事。
- (5) 危険物の規制に関する事。
- (6) 消防操法訓練の指導に関する事。
- (7) 気象観測及び通報に関する事。
- (8) 救急活動に関する事。
- (9) 救急統計に関する事。
- (10) 救急知識の普及指導に関する事。
- (11) 救急情報に関する事。
- (12) 救助業務に関する事。
- (13) 救助資機材の管理に関する事。
- (14) 消防通信及び一般連絡に関する事。
- (15) 無線通信に関する事。
- (16) 通信指令情報の管理及び運用に関する事。
- (17) その他消防、救急、救助及び通信等消防業務に関する事。



# 消 防 予 算

## 1 消防費予算（当初）の年度別比較

（単位：千円）

区分 年度別	一 般 会計予算 A	消防費 B	比 較 (%) $\frac{B}{A} \times 100$	消 防 費 内 訳		
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費
平成 31 年度	26,050,000	742,990	2.85	579,223	92,571	71,196
令和 2 年度	26,280,000	751,635	2.86	557,218	119,028	75,389
令和 3 年度	26,130,000	740,406	2.83	584,400	101,101	54,905
令和 4 年度	27,930,000	814,316	2.92	621,799	108,945	83,572
令和 5 年度	27,780,000	944,448	2.94	765,463	122,559	56,426

## 2 市民一人・世帯当りの消防予算

（単位：円）

区分 年度別	消 防 費	人 口 (人)	一人当りの 消 防 費	世帯数 (世帯)	一世帯当りの 消 防 費
平成 31 年度	742,990,000	61,914	12,000	22,199	33,470
令和 2 年度	751,635,000	61,920	12,139	22,494	33,415
令和 3 年度	740,406,000	61,735	11,993	22,681	32,644
令和 4 年度	814,316,000	61,293	13,286	22,731	35,824
令和 5 年度	944,448,000	60,810	15,531	22,892	41,257

※ 人口・世帯数は、3月31日現在

## 消防職員年齢及び階級別職員数

令和5年4月1日現在

階級 年 齢	合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
20歳未満	1						1
20歳～24歳	9						9
25歳～29歳	15				5	10	
30歳～34歳	14			3	11		
35歳～39歳	3			3			
40歳～44歳	5		1	4			
45歳～49歳	9		9				
50歳～54歳	8		8				
55歳以上	4	1	3				
合 計	68	1	21	10	16	10	10
平均年齢	35.9						

## 消防職員の階級別勤続年数

令和5年4月1日現在

階級 年 数	合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
5年未満	13	1	1			3	8
5年～9年	15				6	7	2
10年～14年	13			3	10		
15年～19年	6			6			
20年～24年	3		2	1			
25年～29年	7		7				
30年～34年	8		8				
35年以上	3		3				
合 計	68	1	21	10	16	10	10
平均勤続年数	15.0						

## 消防力の整備指針に関する概要

消防本部・署所の人員

令和5年4月1日現在

算定台数 (台)		算定台数 等に対する 人員の 算定数 (人)	整備台数 (非常用 を除く) (台)	整備台数 等に対する 人員の 算定数 (人)	現員数 (人)					
警 防 要 員	指揮隊員	指 揮 車	1	12	1	12	50	⑨		
	消防隊員	消防ポンプ自動車		4	60	2			30	
		はしご自動車		1		1				
		化学消防車		1		1				
		特殊車等	小型動力ポンプ付 水 槽 車		1				1	
			資機材搬送車		1				1	
			人員搬送車		1				1	
		救急隊員	救急自動車		4	36			4	36
	救助隊員	救助工作車		1	15	1			15	
	小 計		15	123	①	13			93	⑤
通 信 員			5	②		5	⑥	4	⑩	
予 防 要 員			27			27		4		
うち専任の予防要員			24	③		24	⑦	4	⑪	
庶務等の処理人員			8	④		8	⑧	10	⑫	
合 計		15	160	ア	13	130	イ	68	ウ	

※ ア=①+②+③+④、 イ=⑤+⑥+⑦+⑧、 ウ=⑨+⑩+⑪+⑫

算定台数等 に対する人員の 算定数 (人) ア	整備台数等 に対する人員の 算定数 (人) イ	現員数 (人) ウ	算定台数等の 算定数に対す る充足率 (%) ウ/ア×100	整備台数等の 算定数に対す る充足率 (%) ウ/イ×100	
消 防 吏 員	160	130	68	42.5	52.3

## 消防職員消防学校等入校調

科目 年度別	合計	消防大学校等								山形県消防学校														安全 運転 中央 研修		
		幹部科	救助科	予防科	警防科	火災調査科	自主防災組織育成コース	救急救命士	指導救命士	初任科	警防科	特殊災害科	救助科	予防科	予防査察科	危険物科	火災調査科	救急科(一課程)	救急科(二課程)	救急科(標準課程)	救命士追加講習	救命士再教育講習	初級幹部科		幹部科	梯子自動車操作科
平成 23 年度以前	120		1					9		33		1	8	2	2	3	2	1	1	28	4	14	3		6	2
平成 24 年度	11							1		2	1		1		1				2		2			1		
平成 25 年度	12			1						4		1	1				1			2		2				
平成 26 年度	17						1	1		3	1		1			1				2	4	2		1		
平成 27 年度	19		1				1		1	3			2		1					1	7	2				
平成 28 年度	14				1		1	1		2	1	1	2				1			2					2	
平成 29 年度	14					1			1	4		1	2		1	1				1		2				
平成 30 年度	13				1			1		3	1		2				1			2		2				
令和元年度	15		1				1		1	4		1	2							2	1				2	
令和2年度	12							1		2	1		2				1			3		2				
令和3年度	11			1						2	1		2		1					3				1		
令和4年度	17		1					1		2	2		2				1			2		2			2	2
合計	275		4	2	2	1	4	15	3	64	8	5	27	2	6	5	7	1	1	50	16	30	3	3	12	4

## 消 防 職 員 教 育 実 施 状 況

階 級 学校科別等		合 計	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防 士
			司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	
消 防 大 学 校 等	幹 部 科							
	救 助 科	4		3	1			
	予 防 科	2		1	1			
	警 防 科	2		1	1			
	火 災 調 査 科	1		1				
	自主防災組織育成コース	4		3		1		
	救 急 救 命 士	15		10	3	2		
	指 導 救 命 士	3		3				
山 形 県 消 防 学 校	初 任 科	64		20	9	16	10	9
	警 防 科	8		5	1	2		
	特 殊 災 害 科	5		3	2			
	救 助 科	27		7	8	9	3	
	予 防 科	2		2				
	予 防 査 察 科	6		2	1	3		
	危 険 物 科	5		3	2			
	火 災 調 査 科	7		2	4	1		
	救急科(Ⅰ課程)	1		1				
	救急科(Ⅱ課程)	1		1				
	救急科(標準課程)	50		20	9	11	6	4
	救命士追加講習	16		10	2	4		
	救命士再教育講習	17		10	4	3		
	初 級 幹 部 科	3		3				
	幹 部 科	3		3				
梯子自動車操作科	12		6	2	4			
安全運転中央研修	4		2		2			

## 消防職員特殊技能資格取得状況

階 級 種 別		合 計	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防	消 防 士
			司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	
運転免許	大型Ⅰ種	51		20	10	15	6	
	大型Ⅱ種	5		4	1			
	普通Ⅰ種	68	1	21	10	16	10	10
	普通Ⅱ種	5		4	1			
	大型特殊	11		11				
	自動二輪	36		18	3	11	1	3
整備免許	ガソリン							
	ディーゼル							
	シャーシ	1		1				
無線免許	特殊(電話)	60		19	10	16	10	5
	アマチュア	4		4				
危険物取扱者(乙種)		59		17	10	16	9	7
消防設備士(乙種)		3		2		1		
小型船舶操縦士		28		9	10	8	1	
ガス溶接講習修了		2		2				
ボイラー技師		1		1				
移動式クレーン免許		43		19	10	11	3	
玉掛技能		34		12	10	11	1	
衛生管理者		3		2	1			
酸素欠乏危険作業主任者		27		10	8	8	1	
特定化学物質等作業主任者		13		3	5	5		
有機溶剤等作業主任者		15		10	3	2		

## 消防施設・機械器具





# 消 防 庁 舎 の 概 要

## 施設の規模及び構造

- 1 敷地面積 5,912.84 m<sup>2</sup>
- 2 庁舎
  - 構造 鉄筋コンクリート造 一部2階建
  - 面積 延床面積 1,708.59 m<sup>2</sup>
    - 1階床面積 1,041.95 m<sup>2</sup>  
玄関ホール・車庫・仮眠室・女子室・待機室兼食堂・乾燥室  
機械室・浴室・洗面所・便所・倉庫
    - 2階床面積 666.64 m<sup>2</sup>  
事務室・消防長室・消防団本部室・災害対策室兼会議室  
消防指令センター・通信機械室・印刷室・便所・更衣室  
仮眠室
- 3 訓練塔
  - 構造 鉄筋コンクリート造
  - (1) A塔(主塔) 高さ 16m 5階建  
延面積 147.34 m<sup>2</sup>(5.2m×5.2m)
  - (2) B塔(補助塔) 高さ 7.0m 2階建  
延面積 54.08 m<sup>2</sup>(5.2m×5.2m)
  - (3) その他  
ホース乾燥設備(A塔東面)・電気設備・排水設備  
スプリンクラー実験設備・連結送水管設備
- 4 水防倉庫
  - 構造 軽量鉄骨ブレース構造
  - 延面積 59.54 m<sup>2</sup>(5.475m×10.875m)
- 5 倉庫
  - 構造 鉄骨造
  - 延面積 145.95 m<sup>2</sup>(9.175m×12.815m)
- 6 施設
  - (1) 消防緊急情報施設
  - (2) 緊急自動車出動表示施設
  - (3) 電光掲示板告知板
  - (4) 無線統制塔 庁舎屋上鉄骨造
  - (5) 非常電源設備
  - (6) 太陽光発電・蓄電設備
  - (7) 防火水槽 1基(120 m<sup>3</sup>)
  - (8) 消火栓 2基

## 消防本部・署車両の現有状況

	車両区分	登録年月、車名	級別	経過年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
消防本部	訓練指導車	H18年8月 マツダタイタン	2000cc	16年	(株)東北マツダ	(寄)宝くじ協会
	指揮隊車	R2年12月 トヨタランドクル ーザープラド	2690cc	2年	山形トヨタ(株)	一般単独事業
	防災広報車	H26年2月 トヨタハイエース	2690cc	9年	山形トヨペット (株)	社会資本整備総合 交付金
	消防ポンプ 自動車	H21年11月 日野デュトロ	CD-I型 A-2級	13年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ	地域活性化事業
	水槽付 ポンプ車	H21年2月 日野レンジャー	II型 A-2級	14年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ	緊急消防援助隊設備 整備費補助事業
	化学消防 ポンプ車	H31年1月 日野レンジャー	II型 A-2級	4年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ	一般単独事業
	はしご車	H23年3月 日野・モリタMH-II	35m級	12年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ	一般単独事業
	救助工作車	H18年10月 日野レンジャー	II型 6400cc	16年	帝国繊維(株)	緊急消防援助隊設備 整備費補助事業
	小型動力ポン プ付水槽車	H14年12月 いすゞフオワード	10 m <sup>3</sup> B-2級	20年	(株)長谷川ポンプ	超高压噴霧消火装置 自動混合消火装置
	救急 1号車	R4年11月 トヨタハイメディック	2693 cc	0年	山形トヨタ自動車(株)	(寄)日本損害保険協会
	救急 2号車	R3年10月 トヨタハイメディック	2693cc	1年	山形トヨタ自動車(株)	一般単独事業
	救急 3号車	R1年12月 トヨタハイメディック	2693cc	3年	山形トヨタ自動車(株)	一般単独事業
	救急 4号車	H25年2月 トヨタハイメディック	2693cc	10年	山形トヨタ自動車(株)	社会資本整備 総合交付金
	救急 5号車	H20年1月 トヨタハイメディック	2693cc	15年	山形トヨタ自動車(株)	施設整備事業(一般財源 化分)・一般単独事業
	救助支援車	H7年8月 三菱ふそうファイター	7540cc	27年	太平興業(株)	一般単独事業
	災害搬送車	H22年1月 トヨタコースター	4000cc	13年	山形トヨタ自動車(株)	地域活性化事業
	火災原因 調査車	R1年12月 トヨタハイエース	2693cc	3年	山形トヨタ自動車(株)	一般単独事業
	災害情報 収集車	R3年9月 ダイハツハイゼットカーゴ	650 cc	1年	(株)カーサービス山形 カーサ・ドルチェ天童店	一般単独事業

## 救助隊等装備資器材

分 類	品 名	数 量
一般救助用器具	かぎ付はしご	5
	三連はしご	6
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	2
	空気式救助マット	2
	救命索発射銃	3
	サバイバースリング又は救助用縛帯	10
	平坦架	2
	ロープ	※
	カラビナ	133
	滑車	15
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1
	油圧スプレッダー	0
	可搬ウィンチ	3
	ワイヤーロープ	14
	マンホール救助器具	2
	救助用簡易機重機	0
切断用器具	油圧切断機	1
	エンジンカッター	5
	ガス溶断器	1
	チェーンソー	4
	鉄線カッター	6
破壊用器具	万能斧	24
	ハンマー	6
	携帯用コンクリート破壊器具	2
検知・測定用器具	生物剤検知器	0
	化学剤検知器	0
	可燃性ガス測定器	3
	有毒ガス測定器	9
	酸素濃度測定器	3
	放射線測定器	4
呼吸保護用器具	空気呼吸器	28
	空気補充用ポンペ	73

※1巻200mを適宜切断

分類	品名	数量
隊員保護用器具	革手袋	44
	耐電手袋	7
	安全帯	15
	防塵メガネ	17
	携帯警報器	25
	防毒マスク	24
	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	26
	陽圧式化学防護服	3
	耐熱服	2
	放射線防護服（個人用線量計を含む。）	0
検知用器具	簡易画像探索機	1
除染用器具	除染シャワー	1
	除染剤散布器	0
水難救助用器具	潜水器具一式	0
	流水救助器具一式	2
	救命胴衣	51
	水中投光器	0
	救命浮環	13
	浮標	0
	救命ボート	3
	船外機	3
	水中スクーター	0
	水中無線機	0
	水中時計	0
	水中テレビカメラ	0
山岳救助用器具	登山器具一式	0
	バスケット担架	5
その他の救助器具	投光器一式（投光器本体、三脚、電源ケーブル、発電機等）	6
	携帯投光器	38
	携帯拡声器	12
	携帯無線機	39
	応急処置用セット	5
	車両移動器具	1
	その他の携帯救助工具	42

分 類	品 名	数 量
重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ式	2
	大型油圧スプレッダー	3
	救助用支柱器具	0
	チェンブロック	0
切断用器具	空気鋸	2
	大型油圧切断機	3
	空気切断機	0
	コンクリート鉄筋切断用チェーンソー	0
破壊用器具	削岩機	2
	ハンマドリル	2
呼吸器用器具	酸素呼吸器(予備ボンベを含む。)	0
	簡易呼吸器	0
	防塵マスク	36
	送排風機	2
	エアラインマスク	0
隊員保護用器具	耐電衣	6
	耐電ズボン	6
	耐電長靴	6
	特殊ヘルメット	0
その他の救助用器具	緩降機	2
	ロープ登降機	7
	救助用降下機	0
	発電機	8

分 類	品 名	数 量
高度救助用器具	画像探索機	1
	地中音響探知機	0
	熱画像直視装置	2
	夜間用暗視装置	1
	地震警報器	0
	電磁波探査装置	0
	二酸化炭素探査装置	0
	水中探査装置	0
	検知型遠隔探査装置	0

# 地区別消防水利設置状況

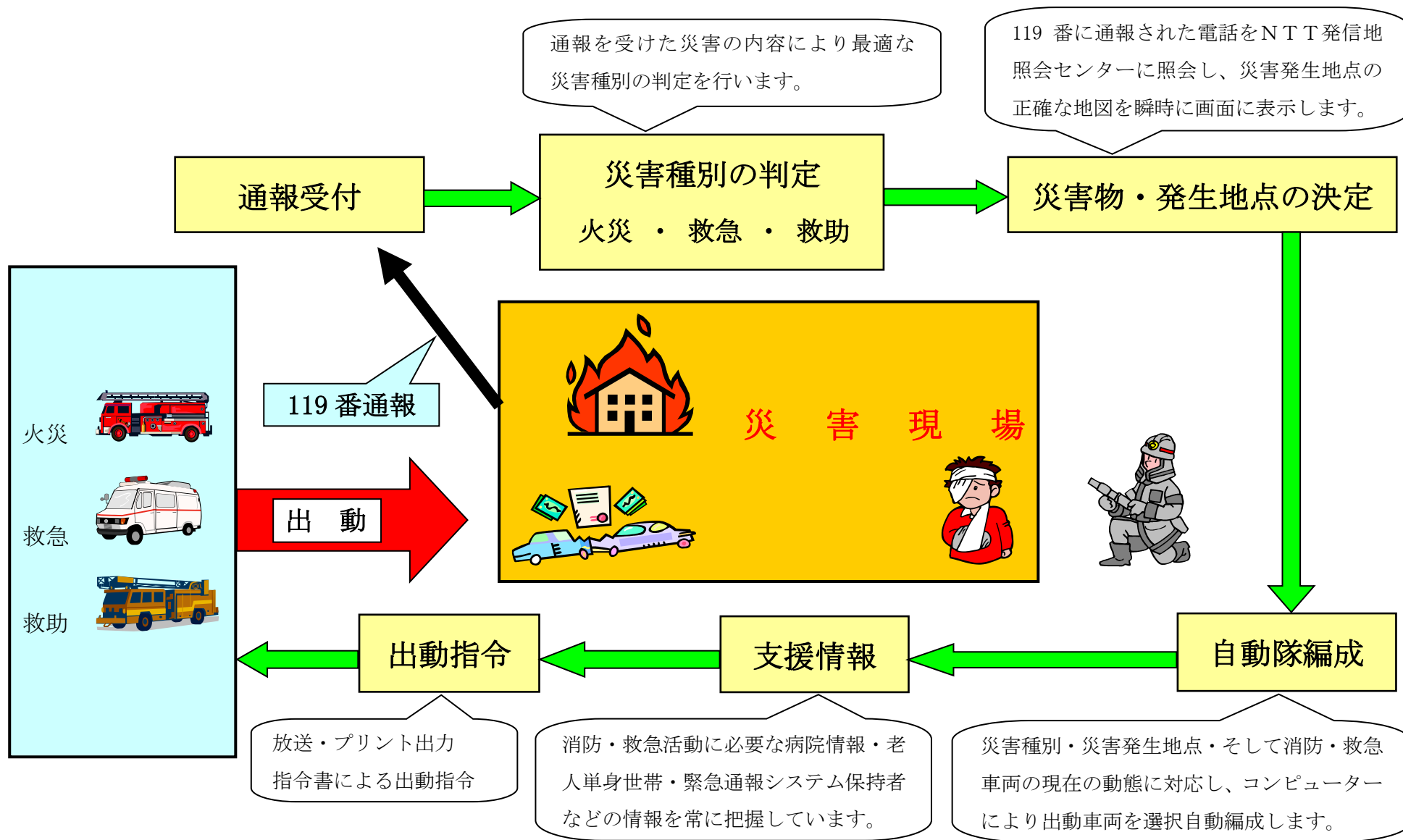
令和5年4月1日現在

区 分		合 計	天童中部	天童南部	天童北部	成 生	蔵 増	寺 津	津 山	田 麦 野	山 口	高 揃	長 岡	干 布	荒 谷	
公 設 消 火 栓	50mm 以下	2			1		1									
	75mm	319	72	33	33	30	28	4	12	3	27	20	31	9	17	
	100mm	591	83	80	43	37	38	18	60	15	44	44	66	43	20	
	150mm	369	31	51	23	45	14	8	31		33	29	56	23	25	
	200mm	140	12	28	6	6	16	7	16		21	13	10	4	1	
	250mm	20	3	3				2	3				9			
	300mm 以上	8	2	1	1				1			2		1		
	不 明	5	1	1					1					2		
	小 計	1454	204	197	107	118	99	37	124	18	125	108	172	82	63	
私 設	小 計	7	1	1			2		2					1		
公 設 防 火 水 槽	20 m <sup>3</sup> 未満	18	1						2	1	1	2		11		
	20 m <sup>3</sup> 以上 40 m <sup>3</sup> 未満	60	5	3	3	5	3	3	4	2	12	5		9	6	
	40 m <sup>3</sup> 以上 60 m <sup>3</sup> 未満	402	33	31	19	37	36	20	40	10	64	50	15	34	13	
	60 m <sup>3</sup> 以上 100 m <sup>3</sup> 未満	10		1	1			1			3	3			1	
	100 m <sup>3</sup> 以上	18	6	1	1				4		1		5			
	小 計	508	45	36	24	42	39	24	50	13	81	60	20	54	20	
私 設	40 m <sup>3</sup> 以上 60 m <sup>3</sup> 未満	6		1	2							1	2			
	60 m <sup>3</sup> 以上 100 m <sup>3</sup> 未満	5		1	2								2			
	100 m <sup>3</sup> 以上	7		3	1									3		
	小 計 (20 m <sup>3</sup> 未満含まない)	18	0	5	5	0	0	0	0	0	0	1	4	3	0	
そ の 他	プール	18	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	
	池・沼	5	1						2		2					
	小 計	23	3	1	2	1	2	1	3	1	3	1	1	2	2	
合 計		2010	253	240	138	161	142	62	179	32	209	170	197	142	85	

# 通 信 施 設 等 概 要

器 名		数量	備 考
指 令 装 置	指令台 I 型	2 台	単座席型、FAX119 番受信、メール 119 受信 NET119 受信
	自動出動指定装置	1 式	位置情報通知システム (統合型)
	地図検索装置	1 //	各席対応型、指令台搭載分
	長時間録音装置	1 //	ハードディスク録音、BR-RE バックアップ
	非常用指令装置	1 //	指令制御装置と同一キャビネット内
	指令制御装置	1 //	二重化構成回路、自己診断機能付
	レーザープリンタ	1 台	自動出動指定装置用、災害事案処理記録用
	カラープリンタ	1 //	地図等検索装置用
	署所端末装置	1 式	待機室装置
	地図端末装置	2 台	事務室、待機室
表 示 盤	多目的情報表示盤	2 面	46 インチ 4 面マルチディスプレイ
	災害情報表示盤	2 //	42 インチディスプレイ、待機室用
	情報表示盤	3 //	会議室兼災害対策室、庁舎 2 階事務室、天童市役所
無 線 装 置	遠隔制御装置	2 台	消防波 1、消防波 2、主運用波、統制波
	署活動用携帯無線機	25 台	460MHz 帯アナログ方式消防用携帯型無線機
指 令 伝 送 装 置	指令情報送信装置	1 式	制御装置、ネットワーク機器等
	指令情報出力装置	1 //	待機室用、指令書・事案終了書用プリンタ
気象情報収集装置		1 //	プリンタ、データロガー装置等
災害情報等自動案内装置		1 台	テレドーム式 400 回線対応、遠隔操作機能等
順次指令装置		1 //	収容数 3 回線、遠隔操作機能等
音声合成装置		1 式	規則合成方式
出動車両運用管理装置	管理装置 (親局)	1 //	消防無線回線
	車両運用端末装置	14 台	ポンプ車、タンク車、水そう車、救助工作車、化学車、救助支援車、はしご車、救急 1・2・3・4 号車、指揮隊車、火災原因調査車、災害搬送車
	車外設定端末装置	14 //	
システム監視装置		1 式	システム監視装置、データ修正装置
電 源 設 備	無停電電源装置	1 //	停電保障 9 分間以上 消防本部用
	無停電電源装置	1 //	停電保障 9 分間以上 署所用
	直流電源装置 (48V 系)	1 //	停電保障 6 時間以上 シール蓄電池
	非常用発動発電機	1 //	商用電源停電時、庁舎全体のバックアップ用
拡 張 台		3 台	
現場画像伝送装置	映像送信装置 (車載型)	2 台	車載型カメラ タンク車、救助工作車に車載
	映像送信装置 (可搬型)	1 台	可搬型カメラ
	映像送信装置 (スマホ)	2 台	スマートフォン型カメラ 中隊長、大隊長用
	受信装置	1 式	カメラコントローラー 多目的表示盤へ表示可
無 線 受 令 機		2 台	指令センター、待機室
災害事案等連携装置	災害事案連携サーバ	1 式	バックアップ装置含む
	災害連携事案クライアント	1 //	ノートパソコン 8 台、プリンタ、スキャナ等
	各 OA システム	1 //	各係用、統計・管理システムソフト
監視カメラ装置		1 式	監視カメラ 6 台、録画機能付き
庁舎内放送設備		1 //	
構内電話交換設備	電話交換機	1 //	多機能電話機 21 台、PHS 5 台

# 高機能消防指令センターによる災害通報の受付から出動までの指令業務





予 防



# 防 火 対 象 物

令和5年3月31日現在

防火対象物		防火対象物 法第17条	防火対象物 法第8条	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	棟合計
(1)	イ	劇場等	10	9	1							1
	ロ	集会場等	100	31	2							2
(2)	イ	キャバレー等										
	ロ	遊技場等	8	6			1					1
	ハ	風俗店等										
	ニ	カラオケボックス等	2	2								
(3)	イ	料理店等										
	ロ	飲食店等	109	57								
(4)		百貨店等	165	83								
(5)	イ	旅館等	39	33	2	5	4	2	3	2	1	19
	ロ	共同住宅等	744	43	19	8	2	1	1	1		32
(6)	イ	病院等	50	13	4							4
	ロ	老人短期入所施設等	24	24	3							3
	ハ	老人デイサービス等	71	49	1							1
	ニ	幼稚園等	7	7								
(7)		学校等	57	57	5							5
(8)		図書館等	7	4								
(9)	イ	蒸気浴場等										
	ロ	一般浴場等	1	1								
(10)		車両停車場等										
(11)		神社・寺院等	50	8								
(12)	イ	工場等	475	124	12	4	3					19
	ロ	スタジオ等										
(13)	イ	車庫等	36	7								
	ロ	特殊格納等										
(14)		倉庫	332	21								
(15)		その他事業場	388	61	5	1						6
(16)	イ	特定用途の存する場合	284	77	7	1						8
	ロ	イ以外の複合用途	99	1	1							1
(16)の2		地下街										
(16)の3		準地下街										
(17)		文化財	2	2								
(18)		アーケード										
合 計			3060	720	62	19	9	4	4	3	1	102

# 消防用設備等設置現況

令和5年3月31日現在

消防用設備等 対象物の区分			消火設備					警報設備				避難設備		その他	
			屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	特殊消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	非常警報設備	火災通報装置	避難器具	誘導灯	消防用水	連結送水管
(1)	イ	劇場等	6	1				10	1	7		1	7	1	
	ロ	集会場等	14	1	1			40	23	45		10	56		
(2)	イ	キャバレー等													
	ロ	遊技場等	1	1	1			8	3	6		3	8		1
	ハ	風俗店等													
(3)	イ	料理店等													
	ロ	飲食店等	4					30	8	29		9	78		
(4)		百貨店等	17	6	1	1		85	16	64		2	126		
(5)	イ	旅館等	22	3				39	20	27	25	13	39		9
	ロ	共同住宅等	5		2			68	40	12		80	17		3
(6)	イ	病院等	4	3	1			22	7	16	7	3	49		
	ロ	老人短期入所施設等	2	23				24	2	8	24	4	24		
	ハ	老人デイサービス等	7	2				45	6	6	20	3	64		
	二	幼稚園等						7	3			3	7		
(7)		学校等	28					48	10	12		4	14		
(8)		図書館等	2					6	2	2			5		
(9)	イ	蒸気浴場等													
	ロ	一般浴場等	1					1					1		
(10)		車両停車場等													
(11)		神社・寺院等						4	16	29	1	1	5		
(12)	イ	工場等	95		13	37	5	249	29	5		4	77	6	2
	ロ	スタジオ等													
(13)	イ	車庫等			6			7							
	ロ	特殊格納等													
(14)		倉庫	30			11	2	159	5	1		3	33	1	
(15)		その他事業場	24		4	3	1	84	18	55		9	66	2	1
(16)	イ	特定用途の存する場合	9	9	5			121	35	36	10	19	178	1	
	ロ	イ以外の複合用途	1			1		11	2	3	1	5	6		
(16)の2		地下街													
(16)の3		準地下街													
(17)		文化財				1		2	1	1			1		
(18)		アーケード													
合計			272	49	34	54	8	1072	247	364	88	176	863	11	16

# 各種届出受理状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日

項目	届出等の別	件数
防火管理関係	防火・防災管理者選解任届	158
	消防計画届	201
	防火対象物点検結果報告	53
消防用設備関係	工事整備対象設備等着工届出書	50
	消防用設備等設置届	282
	消防用設備等点検結果報告書	844
危険物関係	譲渡引渡届	2
	廃止届	10
	保安監督者選解任届	17
	品名、数量、倍数変更届	2
	予防規程制定（変更）認可申請	7
	名称等変更届	12
	軽微な変更工事届	66
液石等関係	液化石油ガス、圧縮アセチレン等の届	44
火災予防条例関係	防火対象物使用開始届	108
	少量危険物、指定可燃物貯蔵取扱届	32
	少量危険物、指定可燃物貯蔵廃止届	30
	火を使用する設備等の設置届	40
	禁止行為の解除申請	3
	火災とまぎらわしい行為の届	115
	煙火打上げ届	58
	道路工事届	102
	その他の届出	1
県委任事務	液化石油ガス設備工事届	0
	煙火消費許可	0
合 計		2237

## 危険物製造所等施設数

令和5年3月31日現在

製造所等の別 区分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	小 計	給 油	販 売	一 般	
5倍以下	156		139	16	7	4	38			74		17	3		14
5～10〃	57		46	10	5	2	27	1	1			11			11
10～50〃	60		26	6	6		12		1	1		34	18		16
50～100〃	31		24		2		4			18		7	6		1
100～150〃	7		3	1	1		1					4	4		
150～200〃	6		5		4		1					1	1		
200～1,000〃	16											16	16		
合 計	333		243	33	25	6	83	1	94	1		90	48		42

## 危険物製造所等規制事務申請件数

令和4年4月1日～令和5年3月31日

製造所等の別 区分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				小 計	屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	小 計	給 油	販 売	一 般
許可	設置	5		4	1					3		1	1		
	変更	17		6						6		11	7		4
合 計		22		10	1					9		12	8		4
完成	設置	4		4						4					
	変更	20		7						7		13	10		3
合 計		24		11						11		13	10		3
仮 使 用		9										9	7		2

## 危険物施設の推移（過去 15 年間）

毎年度 3 月 31 日現在の統計

年度 区分	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
製 造 所															
屋 内 貯 蔵 所	40	40	40	39	38	36	36	36	37	35	34	34	34	34	33
屋外タンク貯蔵所	29	29	28	27	27	27	27	27	27	26	26	26	26	25	25
屋内タンク貯蔵所	6	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6
地下タンク貯蔵所	122	120	119	116	114	104	100	97	93	88	88	85	85	85	83
簡易タンク貯蔵所	4	4	4	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1
移動タンク貯蔵所	96	92	91	88	89	91	92	93	96	96	94	93	98	98	94
屋 外 貯 蔵 所	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
給 油 取 扱 所	62	59	58	57	57	57	56	56	54	54	52	52	50	48	48
一 般 取 扱 所	51	52	51	51	50	46	46	46	44	45	43	44	42	44	42
合 計	412	404	399	388	385	371	367	365	360	352	345	342	343	342	333

# 建 築 同 意

## 1 建築同意処理状況

区分 月別	合 計	新 築	増 築	改 築	計画変更	その他
4 月	6	5	1			
5 月	8	7			1	
6 月	8	8				
7 月	7	5	2			
8 月	11	9			2	
9 月	9	7	1		1	
10 月	5	2	1		2	
11 月	8	5	1		2	
12 月	4	3			1	
1 月	5	5				
2 月	6	4	2			
3 月	7	4	3			
合 計	84	64	11		9	

## 2 年度別同意処理状況

	29 年	30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
同意件数	132	111	103	73	87	84

## 危険物取扱者試験準備講習状況

	29 年	30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
受講者数	43	28	31	20	0	32



警

防



# 災害等受信状況

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

受信月別	月計	受信比率	災害等				その他							他消防転送	
			火災	救急	救助	その他	いたずら	まちがい	誤報	問い合わせ	通報訓練	試験	その他		
合計	4,217		21	2,749	36	164	4	155	0	206	241	143	447	51	
種別比率		100.0%	0.5%	65.2%	0.8%	3.9%	0.1%	3.7%	0.0%	4.9%	5.7%	3.4%	10.6%	1.2%	
令和4年	1月	317	7.5%	1	202	2	18		18		18	5	4	46	3
	2月	283	6.7%	2	166	2	16	1	12		14	4	35	29	2
	3月	374	8.9%	2	227	2	19		19		12	21	16	47	9
	4月	325	7.7%	3	225	5	16		7		11	12	12	29	5
	5月	360	8.5%	2	221	6	14		19		18	14	7	55	4
	6月	347	8.2%	1	209		19	1	3		11	29	20	50	4
	7月	330	7.8%	2	223	3	10		11		20	19	5	34	3
	8月	388	9.2%		266	2	10		14		33	9	10	42	2
	9月	325	7.7%	2	220	4	12	1	12		15	17	9	30	3
	10月	374	8.9%	1	241	3	9	1	10		15	47	13	29	5
	11月	394	9.4%	4	263	5	12		13		13	41	5	31	7
	12月	400	9.5%	1	286	2	9		17		26	23	7	25	4

受信種別	種別計	受信比率	災害等				その他							他消防転送	
			火災	救急	救助	その他	いたずら	まちがい	誤報	問い合わせ	通報訓練	試験	その他		
119番通報	固定電話	831	19.7%		497	2	15		24		36	107	93	57	
	I P電話	1,332	31.6%	6	1,050	2	29		22		39	120	7	55	2
	携帯電話	1,605	38.1%	10	1,003	13	50	4	109		127	12	30	198	49
一般加入電話		343	8.1%	3	149	9	47				1	1		133	
駆け付け		15	0.4%	2	6	1	1				3		1	1	
専用線		65	1.5%		38	9	16							2	
消防無線		13	0.3%		6		6							1	
その他		13	0.3%								1	12			



## その他の緊急出場状況

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

種別 月	合 計			危 険 排 除			緊 急 確 認			連 携						誤報・虚偽通報 誤認・いたずら			そ の 他		
	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	救 護			ドクターヘリ			件数	人員	台数	件数	人員	台数
										件数	人員	台数	件数	人員	台数						
1月	18	118	37	4	25	8	3	18	5	11	75	24									
2月	13	70	22	4	13	4	3	18	5	6	39	13									
3月	17	90	28	3	14	4	6	29	8	8	47	16									
4月	16	107	33	1	3	1	4	32	9	10	63	20				1	9	3			
5月	13	84	25	4	15	4	3	32	9	6	37	12									
6月	18	92	29	3	11	3	4	14	4	11	67	22									
7月	11	83	25	1	3	1	5	39	11	3	19	6	1	6	2	1	16	5			
8月	9	65	20				4	35	10	5	30	10									
9月	12	54	17	4	14	4	3	12	3	5	28	10									
10月	7	41	13				1	4	1	6	37	12									
11月	13	78	24	1	3	1	4	21	6	7	43	14				1	11	3			
12月	7	42	13	1	3	1	2	15	4	4	24	8									
合 計	154	924	286	26	104	31	42	269	75	82	509	167	1	6	2	3	36	11			

※危険排除とは、電気、ガス、危険物、毒劇物、放射性物質、火気取扱、異臭等での火災の発生防止及び人的被害の軽減、危険の除去などの消防活動

※緊急確認とは、自動火災報知設備の作動、非常ベル鳴動、怪煙偵察等の緊急を要する現場確認

※連携とは、消火隊、救助隊等が救急現場に出場し、救急隊、ドクターヘリ等と連携して救護、安全管理を行う消防活動

## その他の出場状況（消防団）

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

種別	演習・訓練等	広報・指導	特別警戒 (災害・年末年始等)	その他 (規律・放水・操法訓練等)
実施内容	新春防火巡回（1月9日） 件数 1件 人員 1,003人 車両44台	火災予防広報 各分団 ①月2回実施	年末年始特別警戒 ①各分団2回(年末・年始)	新入団員辞令交付式 件数 1件
	春季消防演習（4月24日） 件数 1件 人員 188人 車両 0台	②1回あたり 5人	②自動車・積載車 45台	人員 46人
	水防技術訓練（5月29日） 件数 1件 人員 188人 車両40台	③自動車・積載車 45台	件数 26件	車両 0台
	天童市総合防災訓練（10月2日） 件数 1件 人員 60人 車両 4台	件数 1,022件	人員 580人	演習のための小隊・操法訓練 中止
	消防団秋季火災防ぎょ訓練 件数 7件 人員 240人 車両21台	人員 5,919人	車両 73台	操法訓練 中止
		車両 780台	災害・行事等の特別警戒 件数 13件	その他 件数 8件
	指導 件数 1件	人員 244人	人員 57人	
	人員 8人	車両 33台	車両 8台	
合計	11件 1,679人 109台	1,023件 5,927人 780台	39件 824人 106台	9件 103人 8台

# 訓練実施状況

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

種別 月	合計		火災防ぎよ 訓 練		救助訓練		救急訓練		機関員養成 訓練		はしご車 運用訓練		走行訓練		水防訓練		教 養		その他 訓 練	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
1月	25	184	1	3	6	55	6	40	1	11	4	25	3	9			3	26	1	15
2月	29	255	3	14	6	34	3	21	2	12	1	4	1	2			8	106	5	62
3月	28	212	3	32	3	25	6	30	4	27	2	7	3	8			2	23	5	60
4月	58	368	17	127	20	132	4	33	5	19	3	14	6	20			1	5	2	18
5月	35	237	11	21	11	87	2	25	3	18	2	11			1	7	4	48	1	20
6月	43	385	10	107	14	132			2	7	5	18	3	7			7	86	2	28
7月	41	355	11	115	11	81	3	27	6	44	4	20	1	2			2	26	3	40
8月	32	207	7	39	10	75	2	15	7	37	1	3					2	19	3	19
9月	42	328	20	196	11	81	3	9	1	3	1	5					3	29	3	5
10月	35	299	17	196	6	44	8	33	3	21			1	5						
11月	49	186	8	29	10	69	2	6	1	4			28	78						
12月	46	250	1	5	12	76	8	89	1	3			21	61			3	16		
合計	463	3,266	109	884	120	891	47	328	36	206	23	107	67	192	1	7	35	384	25	267

# 防火対象物等消防訓練実施状況

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

	消防法施行令別表第一区分別訓練実施数																								自主防災会 町内会等訓練	見 学	合 計						
	(一) イ・ロ			(四)			(五) イ			(六) イ			(六) ロ・ハ・ニ			(七)			(十二) イ			左記以外の 防火対象物											
	集 会 場			百 貨 店			旅 館			病 院			保 育 園			工 場																	
	集会場含む 複合用途			マ-ケ-ット 店 舗			ホ-テ-ル			診-療-所			福-祉-施-設 幼-稚-園			学 校			作 業 所														
件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	
1月	1	3		2	48	2	1	4				1	59	1	2	307				4	201	1				2	46	7	13	668	11		
2月	5	18		2	13							4	369							3	40	2							14	440	2		
3月	6	28		13	256		1	5	2	39		17	667		1	32		1	6	16	458							57	1,491	0			
4月	1	40		4	87		1	10	2	30		3	144		8	2,510				13	234	1	100	2				33	3,155	2			
5月	2	15		9	97		2	47	4	29		6	291					1	64	14	594				1	15		39	1,152	0			
6月	2	33		6	57		3	52	4	232	3	12	532	8	2	1,179	2	5	267	2	15	208	9		3	156	52	2,716	24				
7月	3	18		4	75	1	2	14				10	396	2				2	90	9	344	2	2	90	1	7	33	1,034	5				
8月				2	37		1	5	1	20		7	382	2	1	526		2	225	2	8	299	6	1	109	1	50	24	1,653	10			
9月				4	28		3	23	2			10	678	5				1	7	7	228		1	20	2			26	984	9			
10月	5	69	2	6	78		8	109	3	4	130	3	24	1,283	9	1	500	14	3,135	5	17	757	2	1	100	2	6	162	2	86	6,323	28	
11月	2	8	2	9	137		2	34	4	1	15	2	11	521	3	1	343	3	469		25	538	13			9	313	63	2,378	24			
12月	11	106	8	3	34		6	133	2	4	224	2	5	153	3			1	8		11	172	3					41	830	18			
合 計	38	338	12	64	947	3	30	436	11	22	719	10	110	5,475	33	16	5,397	2	30	4,271	9	142	4,073	38	6	419	6	23	749	9	481	22,824	133

\*各施設独自の自主訓練等も含む



## 災害等出場状況（消防団）

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

種別 月	合 計			火 災			管外応援火災			自 然 災 害 等									そ の 他 (非火災・誤報等)		
										風 害			水 害			土砂災害					
	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数
1月	1	73	15	1	73	15															
2月	2	112	21	2	112	21															
3月	1	78	12	1	78	12															
4月	3	123	21	2	99	17													1	24	4
5月	3	139	28	2	134	27						1	5	1							
6月	1	132	27	1	132	27															
7月	3	44	11	1	38	10	1	5	1										1	1	
8月	1	65	10									1	65	10							
9月	1	93	17	1	93	17															
10月	2	170	29	1	163	27	1	7	2												
11月	3	109	19	2	70	12													1	39	7
12月	3	55	10	1	45	9	2	10	1												
合 計	24	1,193	220	15	1,037	194	4	22	4				2	70	11				3	64	11

# 降 雪 ・ 積 雪 記 録

観測年・・・当該年の降雪初期から翌年降雪終期まで(寒候期)

単位・・・c m

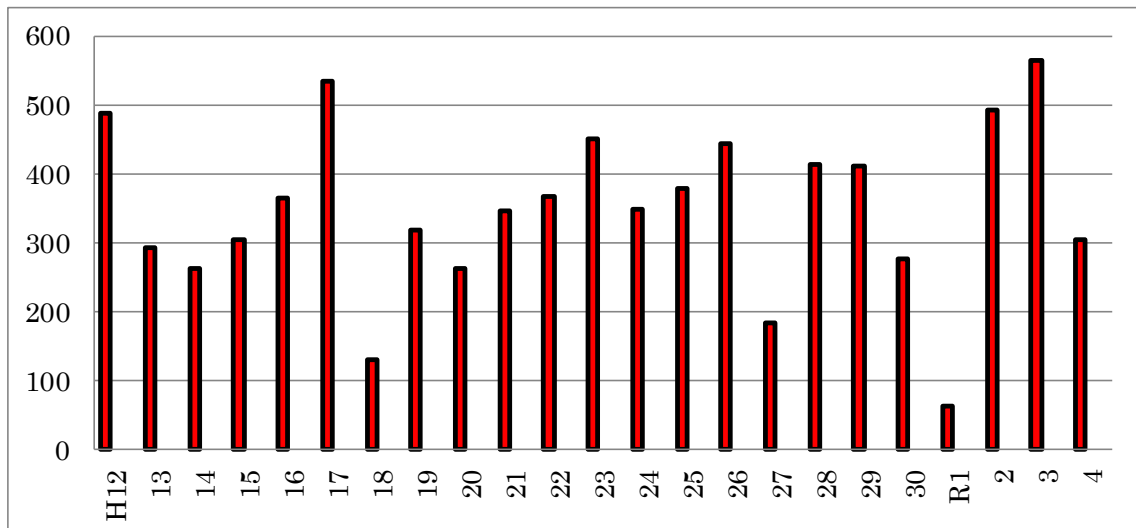
年 度	累 積 降雪量	最 高		最 高		初 雪		最 終		観測場所
		記 録 日	降 雪 量	記 録 日	積 雪 深	記 録 日	降 雪 量	記 録 日	降 雪 量	
平成 12 年	489.0	13. 1. 9	31	13. 1. 9	72	12. 11. 29	0	13. 4. 1	0	貫津 2512
平成 13 年	293.0	13. 12. 15	32	13. 12. 17	51	13. 11. 26	0	14. 3. 8	1	〃
平成 14 年	262.0	15. 1. 30	46	15. 1. 31	72	14. 11. 6	0	15. 3. 21	2	〃
平成 15 年	305.0	16. 1. 23	40	16. 2. 8	57	15. 12. 4	0	16. 4. 25	1	〃
平成 16 年	366.0	17. 1. 22	30	16. 2. 5	68	16. 11. 30	0	17. 4. 2	0	〃
平成 17 年	535.0	17. 12. 31	53	18. 1. 4	82	17. 11. 19	0	18. 4. 21	0	桜町 2-1
平成 18 年	130.0	19. 1. 9	20	19. 1. 9	22	18. 11. 12	0	19. 4. 5	0	〃
平成 19 年	318.0	20. 1. 25	29	20. 1. 25	33	19. 11. 18	0	20. 3. 8	0	〃
平成 20 年	264.0	20. 12. 28	20	20. 12. 28	30	20. 11. 19	0	21. 3. 29	0	〃
平成 21 年	347.0	21. 12. 20	30	21. 12. 20	40	21. 11. 3	0	22. 4. 17	0	〃
平成 22 年	368.0	23. 2. 1	27	23. 2. 1	65	22. 12. 14	0	23. 3. 31	6	〃
平成 23 年	452.0	24. 2. 2	33	24. 2. 5	83	23. 11. 16	0	24. 4. 8	0	〃
平成 24 年	348.0	25. 1. 15	36	25. 2. 26	55	24. 11. 21	0	25. 4. 21	0	〃
平成 25 年	378.0	26. 2. 9	37	25. 12. 29	50	25. 11. 11	0	26. 4. 7	1	〃
平成 26 年	443.0	26. 12. 18	35	27. 2. 15	52	26. 11. 25	0	27. 3. 25	0	〃
平成 27 年	185.0	28. 1. 20	24	28. 1. 25	41	27. 12. 4	0	28. 3. 26	1	〃
平成 28 年	413.0	29. 2. 3	42	29. 2. 3	52	28. 11. 9	0	29. 3. 28	0	〃
平成 29 年	412.0	30. 1. 25	35	30. 2. 12	56	29. 11. 16	0	30. 4. 10	0	〃
平成 30 年	277.0	31. 1. 9	22	31. 1. 9	32	30. 11. 23	1	31. 4. 11	7	〃
令和元年	64.0	R2. 2. 11	8	R2. 2. 11	8	R1. 11. 20	0	R2. 4. 6	0	〃
令和 2 年	493	R2. 12. 18	30	R2. 2. 10	74	R2. 12. 3	0	R3. 3. 4	0	〃
令和 3 年	564	R3. 12. 27	30	R4. 1. 19	67	R3. 11. 24	0	R4. 4. 29	0	〃
令和 4 年	306	R4. 12. 24	35	R4. 12. 24	42	R4. 12. 2	0	R5. 4. 9	0	〃

※寒候期とは、晩秋から春先までの期間で、冬の寒さや雪の多少を表すときに用いる。

## 累 積 降 雪 量

単位・・・c m

(観測期間・11月～4月)



## 月別気象統計表

令和4年1月1日から令和4年12月31日まで

令和4年 1月～12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (°C)		-1.0	-0.2	4.0	11.0	16.4	20.6	25.5	25.0	21.8	13.4	9.0	2.1
最高気温	気温 (°C)	5.5	8.6	19.3	26.3	29.9	33.6	35.1	35.7	33.8	28.3	20.8	12.8
	記録日	9日	27日	30日	12日	6日	29日	30日	8日	19日	1日	3日	28日
最低気温	気温 (°C)	-8.3	-7.0	-4.4	-2.1	2.7	12.2	19.1	13.2	8.8	0.9	-0.8	-4.9
	記録日	5日	12日	5日	3日	10日	14日	14日	29日	22日	27日	18日	19日
実効湿度 (%)		94.3	90.2	83.7	72.1	68.9	79.9	83.8	86	87.1	87.0	87.3	94
降水量月合計 (mm)		78.0	58.5	64.5	61.5	48.0	61.0	160.5	169.0	76.5	58.5	57.0	116.5
日最多降水量	降水量 (mm)	14.5	11.0	16.5	30.5	25.0	20.5	61.5	39.5	17.5	21.0	17.5	28.5
	記録日	18日	21日	19日	29日	27日	27日	15日	4日	4日	7日	23日	24日
平均風速 (m/s)		1.5	1.7	1.8	1.9	1.9	1.9	1.6	1.6	1.4	1.4	1.6	1.6
最大風速	風速 (m/s)	7.2	9.1	9.6	9.9	10.8	9.4	7.1	7.9	8.7	8.5	9.8	8.1
	記録日	27日	21日	28日	27日	14日	2日	8日	2日	6日	19日	27日	23日

### 最高・最低気温及び降水量

最高気温	35.7°C	8月8日	最低気温	-8.3°C	1月5日
一日最多降水量	61.5mm	7月15日			
年降水量	1,009.5				

### 降雪期における積雪等

令和4年 1月～12月		1月	2月	3月	4月	11月	12月	初雪
降雪量 (月合計) (cm)		226cm	162cm	43cm	0cm	0cm	93cm	12月2日
日最大降雪量	降雪量 (cm)	30cm	23cm	23cm	0cm	0cm	35cm	
	記録日	1、19日	21日	7日	2、29日	24日		
積雪深 (月最大) (cm)		67cm	65cm	30cm	0cm	0cm	42cm	

### 最大風速

最大風速	10.8m/s	5月14日
------	---------	-------

※真夏日とは30度を超えた日

※猛暑日とは35度を超えた日

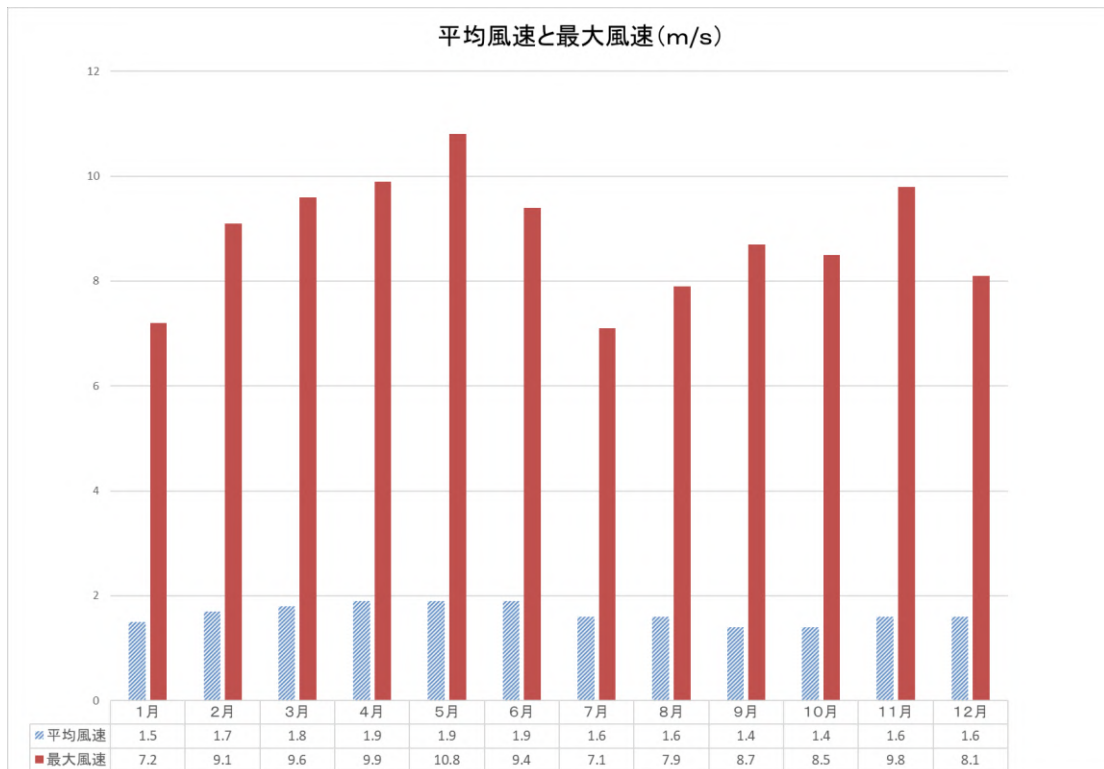
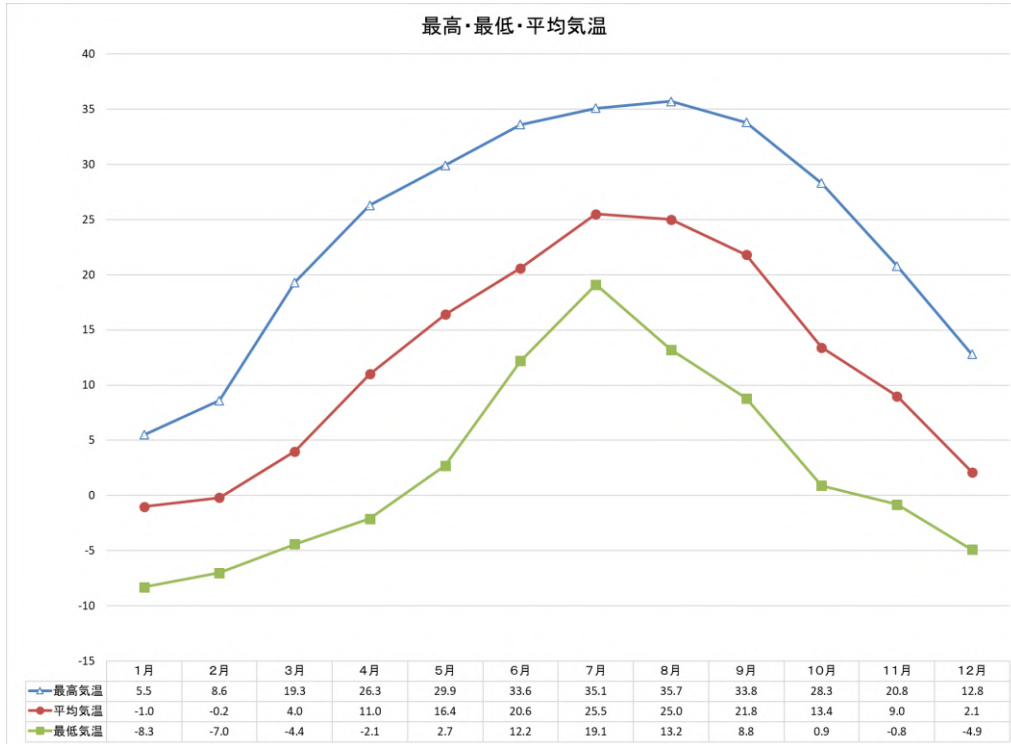
※真冬日とは最高気温が0度未満の日

### 真夏日・猛暑日・真冬日

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
真夏日	0日	0日	0日	0日	0日	8日	17日	13日	10日	0日	0日	0日	48日
猛暑日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	1日	3日	0日	0日	0日	0日	4日
真冬日	4日	3日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	0日	2日	17日	26日

## 月 別 気 温

月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
气温	平均气温	-1	-0.2	4	11	16.4	20.6	25.5	25	21.8	13.4	9	2.1
	最低气温	-8.3	-7	-4.4	-2.1	2.7	12.2	19.1	13.2	8.8	0.9	-0.8	-4.9
		5日	12日	5日	3日	10日	14日	14日	29日	22日	27日	18日	19日
	最高气温	5.5	8.6	19.3	26.3	29.9	33.6	35.1	35.7	33.8	28.3	20.8	12.8
		9日	27日	30日	12日	6日	29日	30日	8日	19日	1日	3日	28日



# 火 災 統 計



## 火災発生状況(前年との比較)

区 分		年		令和 4 年	令和 3 年	増・減 (△)
出 火 件 数	建 物 火 災	件		13	13	0
	林 野 火 災				1	△ 1
	車 両 火 災				4	△ 4
	そ の 他 火 災			4	8	△ 4
	合 計			17	26	△ 9
焼 損 棟 数	全 焼	棟		9	5	4
	半 焼			2	1	1
	部 分 焼			5	4	1
	ぼ や			8	8	0
	合 計			24	18	6
焼 損 面 積	建 物	m <sup>2</sup>	表 40 床 1,162	表 19 床 697	表 21 床 465	
	林 野	a		8	△ 8	
罹 災 世 帯 数	全 損	世帯		7	2	5
	半 損			1		1
	小 損			16	4	12
	合 計			24	6	18
罹 災 人 員		人		44	17	27
死 者				2	2	0
負 傷 者				6	4	2
損 害 額	建 物	千円		80,932	13,136	67,793
	林 野					
	車 両			315	252	63
	そ の 他			6,200	114	6,086
	合 計			87,447	13,502	73,945
出 火 率				2.7	4.3	△ 1.6

表・・・表面積 床・・・床面積

## 月別火災発生状況

	火災種別					焼 損 棟 数	焼損面積			罹 災 世 帯 数	死 者	負 傷 者	損 害 額 (千円)
	建 物	車 両	そ の 他	林 野	合 計		建 物 (m <sup>2</sup> )		林 野 (a)				
							表	床					
1	1			1	6	5	128		4		1	5,382	
2	2			2	4	32	154		3			4,352	
3	1		1	2	1							6,201	
4	1		1	2	1						1	9,890	
5	1		1	2	1		58		13		3	1,229	
6	1			1	1		296		1	1	1	23,360	
7	1			1	1				1			74	
8													
9	1			1	5	3	425		2	1		36,188	
10	1			1	1		101					658	
11	2		1	3	2							98	
12	1			1	1							15	
合計	13		4	17	24	40	1,162		24	2	6	87,447	

表・・・表面積      床・・・床面積

## 曜日別火災発生状況

	火災種別					焼 損 棟 数	焼損面積			罹 災 世 帯 数	死 者	負 傷 者	損 害 額 (千円)
	建 物	車 両	そ の 他	林 野	合 計		建 物 (m <sup>2</sup> )		林 野 (a)				
							表	床					
日	3			3	3		296		1	1	2	33,254	
月	2			2	2		101		1			732	
火			1										
水	3		1	3	7	3	483		16	1	3	43,619	
木	2			2	4	32	154		2			4,444	
金	3		1	3	8	5	128		4		1	5,398	
土			1										
合計	13		4	17	24	40	1,162		24	2	6	87,447	

表・・・表面積      床・・・床面積



## 時間別火災発生状況

	火災種別					焼損面積		損害額 (千円)
	建物	車両	その他	林野	合計	建物 (㎡)	林野 (a)	
0 ~ 1								
1 ~ 2								
2 ~ 3								
3 ~ 4								
4 ~ 5								
5 ~ 6								
6 ~ 7	1				1	表 5 床 128		5,382
7 ~ 8	3				3	表 3 床 721		69,438
8 ~ 9								
9 ~ 10			1		1			
10 ~ 11			1		1			
11 ~ 12	2		1		3			6,275
12 ~ 13								
13 ~ 14	1				1			2
14 ~ 15								
15 ~ 16	1		1		2	床 58		1,229
16 ~ 17								
17 ~ 18	1				1			15
18 ~ 19								
19 ~ 20	2				2	床 101		752
20 ~ 21								
21 ~ 22								
22 ~ 23								
23 ~ 24	1				1	表 32 床 154		4,350
不明	1				1			4
合計	13		4		17	表 40 床 1,162		87,447

表・・・表面積      床・・・床面積

## 原因別火災発生状況

原因	令和4年				令和3年	増・減(△) (件数)
	件数	焼損面積		損害額 (千円)	件数	
		建物(m <sup>2</sup> )	林野(a)			
たばこ					1	△ 1
こんろ	3	床 58		11,134		3
風呂かまど	1			2		1
ストーブ	1	表 5 床 128		5,382	2	△ 1
ボイラー						
煙突・煙道						
電気機器	1			1	2	△ 1
電灯・電話 等の配線					1	△ 1
配線器具	1			74		1
火遊び						
焚き火	1				6	△ 5
マッチ・ ライター					1	△ 1
灯火						
落雷						
放火(疑い含む)	1			4	3	△ 2
その他	4	表 32 床 154		10,644	6	△ 2
不明・調査中	4	表 3 床 822		60,206	4	0
合計	17	表 40 床 1,162		87,447	26	△ 9

表・・・表面積      床・・・床面積

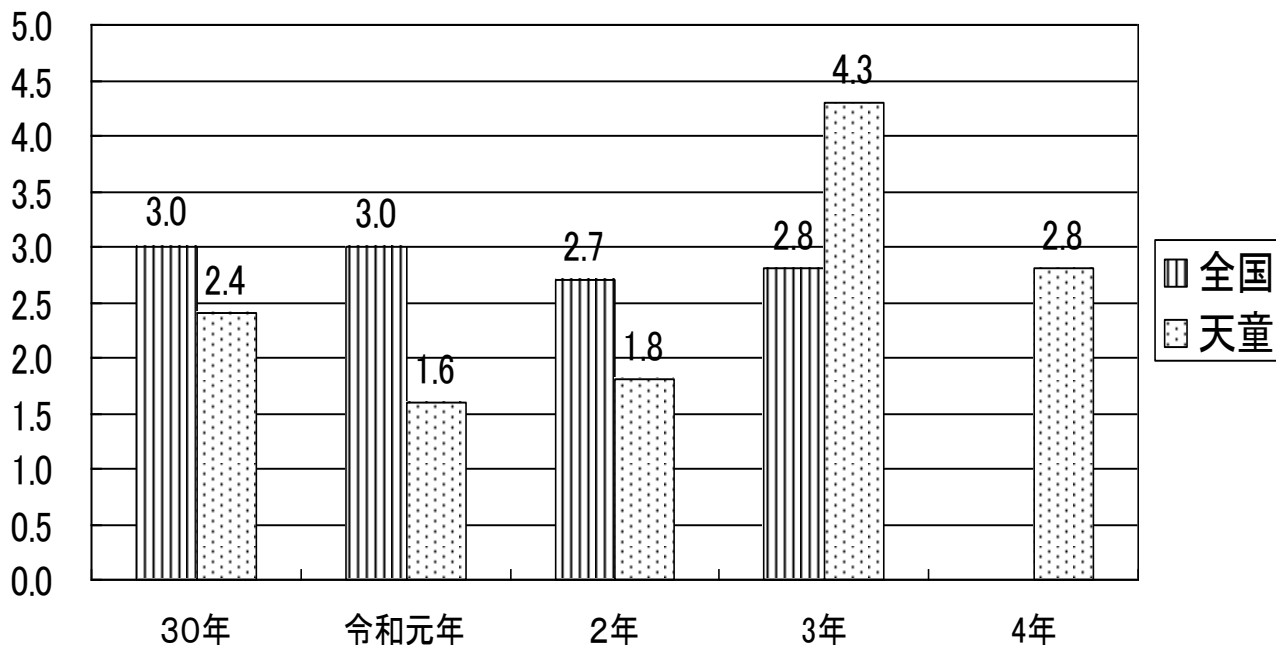
## 火災の覚知別件数

	合計	119番	携帯119番	一般加入電話	警察直通電話	事後聞知	その他
建物火災(件)	14	6	5	1		2	
林野火災(件)							
車両火災(件)							
その他の火災(件)	3		3				
合計	17	6	8	1		2	

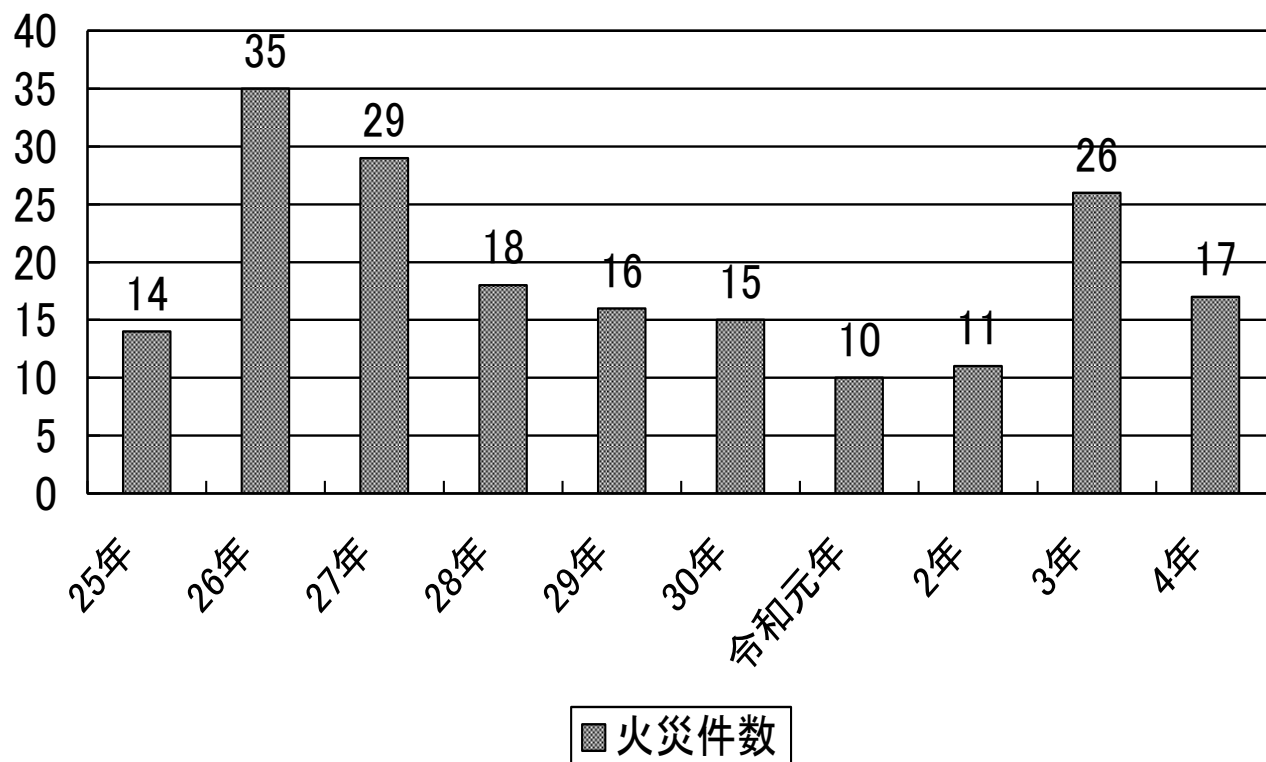
## 出 火 率

出火件数は、その都市の人口に比例するといわれており、人口1万人当たりの出火件数を  
出火率といいます。

過去5年間の本市と全国の出火率は、次のとおりです。



## 過去 10 年間の火災件数



## 天童市の主な火災記録

年号月日	時刻	概要	損害(千円)	原因
明治元年		矢野目部落は庄内藩と天童城主織田藩との交戦により 53 戸の全焼を見る。		庄内藩士の焼き討ち
明治 38 年 6 月 2 日		山口村字小原、住宅より出火し、18 戸 50 棟を全焼した。		かまどの火の不始末
大正 3 年 6 月 8 日	午後 1 時	天童町字田町、住宅より出火し、39 戸 61 棟を全焼した。	不動産 16 動産 13	炉火の不始末
大正 7 年 4 月 16 日	午後 3 時	山口村、物置小屋より出火、烈風に煽られ 39 戸 114 棟を全焼した。	42	子供の火遊び
昭和 14 年 11 月 1 日	午前 4 時	天童久野本、機械工場より出火、同工場を全焼した。	195	電灯取扱いの不良
昭和 15 年 4 月 19 日	午後 2 時	山口村大字川原子、住宅より出火、強風に煽られ 39 戸 149 棟、更に山林 35 町歩を全焼した。	178	かまどの火の不始末
昭和 17 年 6 月 10 日	午前 10 時	田麦野村、物置小屋より出火、強風に煽られて 16 戸を全焼した。	74	子供の火遊び
昭和 23 年 5 月 14 日	午前 10 時	津山村字下貫津、物置小舎より出火、13 戸を全焼した。		子供の火遊び
昭和 24 年 4 月 25 日	午後 2 時 30 分	天童町久野本機械工場より出火し、機械工場、会議室、鍛冶工場等を全焼した。	20,000	刃物の焼入れ作業中、重油に着火
昭和 25 年 4 月 16 日	午前 0 時 40 分	山口村役場より出火し、101 坪の同役場を全焼した。	5,000	放火
昭和 27 年 10 月 19 日	午前 10 時 40 分	天童町田町、木工場塗装室より出火し、同工場を全焼した。	23,700	タバコ火がシンナーに引火
昭和 33 年 5 月 5 日	午前 2 時 55 分	天童市大字山口、物置小屋より出火し、11 棟を全焼した。	2,013	放火
昭和 34 年 1 月 1 日	午前 4 時 05 分	天童温泉・旅館、大広間より出火、同旅館を全焼した。	16,312	タバコ火の不始末
昭和 35 年 5 月 4 日	午後 8 時 50 分	天童市藤内新田、サンダル工場より出火、9 棟を全焼、2 棟を半焼した。	3,029	ベアリングの過熱
昭和 35 年 10 月 30 日	午後 1 時 40 分	天童市老野森、製粉工場より出火し、同工場を全焼した。	6,799	ベアリングの過熱

年号月日	時刻	概要	損害(千円)	原因
昭和 41 年 5 月 13 日	午前 9 時 20 分	天童市大字山口、住宅より出火、住宅、土蔵、物置小屋等 3 棟全焼、7 棟を半焼・部分焼した。	960	囲炉裏の火の粉が火棚に飛び火
昭和 42 年 12 月 30 日	午後 11 時 20 分	天童市大字原町、工場から出火、工場、倉庫、住宅、計 1,176 m <sup>2</sup> を焼損した。	24,220	不明
昭和 44 年 10 月 13 日	午後 11 時 14 分	天童市大字川原子、工場から出火、工場、倉庫、物置等 509 m <sup>2</sup> を焼損した。	3,064	不明
昭和 45 年 8 月 26 日	午後 7 時 45 分	天童市東本町、木工製作所から出火、店舗兼倉庫 1 棟 430 m <sup>2</sup> を焼損した。	7,460	不明
昭和 46 年 12 月 5 日	午前 0 時 30 分	天童市大字高揃、工場から出火、工場と住居 1 棟 707 m <sup>2</sup> 全焼、倉庫を部分焼した。	9,974	溶解炉の火が可燃物に着火
昭和 50 年 9 月 5 日	午後 5 時 55 分	天童市大字上荻野戸、チップ工場から出火、工場と住居 1 棟 296 m <sup>2</sup> と機械一式を焼損した。	20,638	焼却炉からの飛び火
昭和 51 年 11 月 9 日	午後 12 時 55 分	天童市大字久野本、缶詰工場から出火、鉄骨一部木造平屋倉庫 255 m <sup>2</sup> を焼損した。	10,712	石油ストーブの取扱い不注意
昭和 53 年 11 月 21 日	午後 2 時 35 分	天童市大字乱川、工場から出火、工場 1 棟全焼、倉庫 1 棟半焼した。	16,332	溶接時の火花がクッション材料に着火
昭和 55 年 6 月 15 日	午後 1 時 55 分	天童市大字乱川、木工製作所から出火、乾燥材置場、乾燥場、計 328 m <sup>2</sup> 全焼、治具倉庫 2 棟を半焼した。	42,173	ボイラーの煙突からの火の粉が屋根に落下して着火
昭和 59 年 8 月 26 日	午後 2 時 00 分	天童市大字北目、木工製作所から出火、工場延べ 3,296 m <sup>2</sup> に内 400 m <sup>2</sup> と家具を焼損した。	59,918	不明
昭和 60 年 3 月 24 日	午前 3 時 27 分	天童市東本町、雑居ビルから出火、貸店舗 474 m <sup>2</sup> の内 348 m <sup>2</sup> を焼損した。	31,767	漏洩したプロパンガスに製氷機の電気火花が引火
昭和 61 年 1 月 13 日	午前 3 時 45 分	天童市大字寺津、牛舎から出火、牛舎 500 m <sup>2</sup> 全焼、乳牛 37 頭、2t ダンプ等焼損した。	20,285	不明

年号月日	時刻	概要	損害(千円)	原因
昭和 62 年 11 月 10 日	午前 4 時 30 分	天童市一日町、住宅から出火、建物 11 棟(全焼 4 棟、焼 2 棟、部分焼 5 棟)を焼損した。	18,507	ストーブの上に衣類が落下
平成 2 年 5 月 30 日	午後 7 時 35 分	天童市大字寺津、住宅から出火、建物 4 棟(全焼 2 棟、部分焼 2 棟)を焼損した。	34,903	ガソリンにライター の火が引火
平成 8 年 8 月 23 日	午後 8 時 00 分	天童市大字高揃、住宅から出火、建物 4 棟(全焼 1 棟、半焼 1 棟、部分焼 2 棟)を焼損した。	17,750	不明
平成 10 年 6 月 2 日	午後 1 時 10 分	天童市大字乱川、工務店から出火、トタン張り倉庫 2 棟合計 209 m <sup>2</sup> を焼損した。	32,099	ごみの焼却の不始末
平成 10 年 7 月 2 日～ 7 月 7 日	未明から 明け方	天童市中里地内と東長岡地内で連続 7 件の放火事件があり、建物 1 件、その他(洗濯物など) 6 件の火災があった。	合計で 77	放火
平成 13 年 2 月 24 日	午前 5 時 45 分	天童市一日町、危険物製造所から出火、タンク 6 基と製造設備等、142.8 m <sup>2</sup> を焼損した。	11,294	植物油(ヨウソ価 130)の自然発火
平成 16 年 4 月 2 日	午前 5 時 30 分	天童市大字久野本、住宅から出火、建物(全焼 2 棟・半焼 1 棟・部分焼 2 棟・ぼや 1 棟)を焼損した。	合計で 20,765	不明
平成 16 年 4 月 13 日	午前 7 時 15 分	天童市天童中、小路喜太郎稻荷神社から出火、本殿を全焼した。	27,316	放火
平成 17 年 8 月 25 日	午後 2 時 05 分	天童市南町、県営天童南部アパート地下ピット内に漏れた LP ガスを排出中に爆発、2 名負傷。		電気機器のショート
平成 23 年 3 月 19 日	午前 1 時 45 分	天童市大字蔵増、木工所兼住宅の木工所から出火、建物 1 棟(571 m <sup>2</sup> )を全焼した。	59,307	不明
平成 24 年 7 月 23 日	午後 8 時 40 分	天童市大字荒谷、作業所兼車庫付近から出火、建物 4 棟(全焼 3 棟・部分焼 1 棟)を焼損した。	合計で 6,419	不明

年号月日	時刻	概要	損害(千円)	原因
平成 25 年 12 月 4 日	午後 1 時 40 分	天童市芳賀土地区画整理事業地内、建築中のショッピングモールから出火、建物 1 棟 (床面積 1,620 m <sup>2</sup> 、表面積 78.12 m <sup>2</sup> ) を部分焼し、4 名負傷した。	15,765	溶接作業中の溶融金属
平成 27 年 1 月 9 日	午後 8 時 20 分	天童市清池東、野菜工場から出火、建物 1 棟 (354.50 m <sup>2</sup> ) を焼損した。	181,314	不明
平成 27 年 8 月 1 日	午前 3 時 30 分	天童市東芳賀、住宅から出火、建物 10 棟 (全焼 2 棟、部分焼 7 棟、ぼや 1 棟) を焼損した他、3 名が負傷した。	56,262	不明
平成 27 年 12 月 7 日	午前 1 時 45 分	天童市大字乱川、正一位稻荷神社から出火、建物 2 棟 (幣拝殿 51.44 m <sup>2</sup> 全焼、本殿 8.70 m <sup>2</sup> 全焼) を焼損した。	1,715	不明
平成 28 年 1 月 2 日	午後 15 時 00 分	天童市清池東、住宅から出火、建物 4 棟 (全焼 1 棟、半焼 1 棟、部分焼 2 棟) を焼損した他、2 名が死亡した。	695	不明
平成 29 年 12 月 30 日	午前 2 時 55 分	天童市北久野本、住宅から出火、建物 4 棟 (全焼 1 棟、部分焼 3 棟) 及び車両 2 台を焼損した他、1 名が負傷した。	2,055	不明
平成 30 年 7 月 11 日	午前 2 時 50 分	天童市高揃、作業場から出火、建物 3 棟 (全焼 2 棟、部分焼 1 棟) 及び車両 1 台を焼損した。	31,776	不明
令和 4 年 1 月 7 日	午前 6 時 10 分	天童市久野本、住宅から出火、建物 6 棟 (全焼 4 棟、部分焼 1 棟、ぼや 1 棟) 及び車両 3 台を焼損した他、1 名が負傷した。	5,382	ストーブ
令和 4 年 9 月 21 日	午前 7 時 40 分	天童市塚野目、住宅から出火、建物 5 棟 (全焼 2 棟、半焼 2 棟、部分焼 1 棟) を焼損した他、1 名が死亡した。	36,188	不明





# 救 急 ・ 救 助 統 計



## 救急出場件数(前年との比較)

事故種別 区分(年)		合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
													転院搬送	医師搬送	輸送資器材	その他
4	出場件数	2,870	8		1	126	37	19	351	6	14	1,824	394		1	89
	搬送人員	2,647	7			124	37	19	316	4	10	1,650	480			
3	出場件数	2,402	5			118	19	20	333	3	22	1,464	394			24
	搬送人員	2,260	5			111	19	19	305	3	18	1,370	410			
前年との比較	出場件数	468	3		1	8	18	-1	18	3	-8	360			1	65
	搬送人員	387	2			13	18		11	1	-8	280	70			

## 月別・事故種別救急出場件数と搬送人員

月別	事故種別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
	区分												
1月	出場件数	219	1			10	3		27		2	139	37
	搬送人員	208	1			10	3		26		2	129	37
2月	出場件数	177			1	9	2		26			106	33
	搬送人員	167				9	2		25			98	33
3月	出場件数	217				7	1		19			147	43
	搬送人員	200				6	1		19			132	42
4月	出場件数	241	1			8	6		36		3	139	48
	搬送人員	222	1			9	6		34		1	125	46
5月	出場件数	234	3			11	2	5	31	1	2	141	38
	搬送人員	218	3			9	2	5	30		2	128	39
6月	出場件数	224	2			17	5	2	24	1		145	28
	搬送人員	215	2			18	5	2	23	1		135	29
7月	出場件数	231				10	4	3	22	1	2	158	31
	搬送人員	210				7	4	3	19		1	144	32
8月	出場件数	276				10	2	2	31	1		190	40
	搬送人員	258				12	2	2	27	1		174	40
9月	出場件数	230	1			9	2	4	22		1	144	47
	搬送人員	207				7	2	4	17		1	130	46
10月	出場件数	251				8	3	1	33	1	1	166	38
	搬送人員	231				8	3	1	30	1	1	150	37
11月	出場件数	279				19	1	1	39	1	2	166	50
	搬送人員	250				21	1	1	34	1	1	143	48
12月	出場件数	291				8	6	1	41		1	183	51
	搬送人員	261				8	6	1	32		1	162	51
合計	出場件数	2,870	8		1	126	37	19	351	6	14	1,824	484
	搬送人員	2,647	7			124	37	19	316	4	10	1,650	480
前年	出場件数	2,402	5			118	19	20	333	3	22	1,464	418
	搬送人員	2,260	5			111	19	19	305	3	18	1,370	410
増減	出場件数	468	3		1	8	18	-1	18	3	-8	360	66
	搬送人員	387	2			13	18		11	1	-8	280	70

## 救急隊員の行った応急処置

事故種別 応急処置	合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
搬 送 人 員	2,647	1,650	124	316	557
処 置 対 象 人 員	2,624	1,640	121	316	547
止 血	64	12	10	34	8
固 定	85	3	44	18	20
人 工 呼 吸	28	26		1	1
胸 骨 圧 迫	34	29	1	2	2
心 肺 蘇 生	75	62		8	5
酸 素 吸 入	433	299	7	29	98
気 道 確 保	78	66	1	5	6
※ 1	1				1
※ 2					
※ 3	42	37	1	3	1
※ 4	1			1	
保 温	72	54	2	5	11
被 覆	124	10	17	77	20
在宅医療法継続	40	31		5	4
※ A	1	1			
※ B	4	4			
※ C	35	26		5	4
ショックパンプ					
除 細 動	8	7			1
静 脈 確 保	52	47		3	2
心肺機能停止後	24	20		3	1
心肺機能停止前	28	27			1
薬 剤 投 与	12	10		1	1
エピペン投与					
ブドウ糖溶液投与	9	8			1
血 糖 値 測 定	77	73	1	2	1
その他の応急処置	2,596	1,633	121	311	531
血 圧 測 定	2,490	1,554	118	300	518
聴診器による聴取	353	264	17	29	43
血中酸素飽和度測定	2,534	1,572	120	307	535
心 電 図	1,393	1,093	25	78	197
合 計	10,557	6,853	484	1,215	2,005

注1 その他とは、火災・自然災害・水難事故・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院)をいう。

注2 (※1) 経鼻エアウェイによる気道確保

(※2) 喉頭鏡・マギール鉗子等を使用した異物除去

(※3) ラリングアルマスク等を使用した気道確保

(※4) 気管挿管処置

(※A) 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法による点滴処置者への応急処置

(※B) 気管切開孔・気管瘻・人工肛門等の外瘻処置者への応急処置

(※C) ※A・※B以外の処置者への応急処置

注3 応急処置は、傷病者に対して複数の処置を行う場合もあるため、処置人数の合計とは一致しない。

# 医療機関別搬送人員

上段：医療機関搬送人員

下段：管外医療機関搬送人員

事故種別 告示別等 の医療機関		合 計	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他
救 急 告 示	国 立	161 161	102 102	6 6	8 8	45 45
	公 立	1,296 832	893 480	48 40	86 56	269 256
	公 的	659 659	396 396	20 20	64 64	179 179
	私 的 病 院	481 34	219 32	50	154	58 2
	私 的 診 療 所					
	小 計	2,597 1,686	1,610 1,010	124 66	312 128	551 482
非 告 示	国 立					
	公 立					
	公 的					
	私 的 病 院	28 22	23 18		1 1	4 3
	私 的 診 療 所	22 4	17 2		3	2 2
	小 計	50 26	40 20		4 1	6 5
そ の 他 の 場 所						
合 計		2,647 1,712	1,650 1,030	124 66	316 129	557 487

## 時 間 別 救 急 出 場 状 況

時間別	事故種別	出場件数	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
0～2		132				1			11	1	1	112	6
2～4		63							4	1	2	51	5
4～6		105				5	1		8			80	11
6～8		216	3			11	3		19	1		174	5
8～10		348	2			13	5		55		2	227	44
10～12		390				12	9	3	46			218	102
12～14		345				18	4	5	47	1	2	169	99
14～16		287				19	6	6	36			160	60
16～18		343	3			17	4	4	42		1	187	85
18～20		306				25	1		39		2	201	38
20～22		198				5	4	1	24	1	2	143	18
22～24		137			1				20	1	2	102	11
合計		2,870	8		1	126	37	19	351	6	14	1,824	484

## 年 齢 別 ・ 性 別 ・ 事 故 種 別 搬 送 人 員

性別	年齢別	事故種別	搬送人員	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	男		1,406	3			68	30	16	140	2	4	888	255
	女		1,241	4			56	7	3	176	2	6	762	225
	新生児		15											15
	乳幼児		125				5			17			86	17
	少年		67				8		14	8			30	7
	成人		668	2			69	24	5	47	2	8	378	133
	高齢者		1,772	5			42	13		244	2	2	1,156	308
	合計		2,647	7			124	37	19	316	4	10	1,650	480

新生児 生後 28 日未満の者

乳幼児 生後 28 日以上 ～ 満 7 歳未満の者

少年 満 7 歳以上 ～ 満 18 歳未満の者

成人 満 18 歳以上 ～ 満 65 歳未満の者

高齢者 満 65 歳以上の者

## 事故種別・傷病程度別搬送人員

傷病程度別 \ 事故種別	搬送人員	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
死亡	94	1			3	1		9		3	75	2
重症	455	1			10	10		74			250	110
中等症	1,083	3			20	15	7	97	1	5	609	326
軽症	1,015	2			91	11	12	136	3	2	716	42
その他												
合計	2,647	7			124	37	19	316	4	10	1,650	480

傷病者の程度は、初診時における医師の診断に基づき、次の5種類に分類する。

- (1) 「死亡」とは、初診時において死亡が確認されたもの。
- (2) 「重症」とは、傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- (3) 「中等症」とは、傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- (4) 「軽症」とは、傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
- (5) 「その他」とは、医師の診断のないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの。

## 曜日別救急出場件数・搬送人員

曜日別 \ 事故種別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	資器材搬送	その他
日	363	3			13	5	6	58		3	248	21		6
	334	3			14	5	6	55		2	222	21		6
月	458			1	19	3		49	1	2	291	77		15
	424				19	3		44	1	2	264	77		14
火	419				19	5	2	55	1		264	62		11
	390				19	5	2	49	1		243	61		10
水	431	4			22	8	3	52	2	3	267	59	1	10
	386	3			17	8	3	48	1	1	236	59		10
木	377				15	6		46		1	230	63		16
	353				16	6		39		1	211	63		17
金	438	1			22	5	3	46		4	272	70		15
	410	1			24	5	3	42		3	248	70		14
土	384				16	5	5	45	2	1	252	42		16
	350				15	5	5	39	1	1	226	42		16
合計	2,870	8		1	126	37	19	351	6	14	1,824	394	1	89
	2,647	7			124	37	19	316	4	10	1,650	393		87

上段 出場件数

下段 搬送人員



## 月別救急出場件数

件数 月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	月 件 数	2 隊 同 時 出 場	3 隊 同 時 出 場	4 隊 同 時 出 場	5 隊 同 時 出 場
	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件					
1		1	1	2	5	5	3	5	3	3	3										219	56	14	3	1
2	1	3	2	2	4	3		4	1	3	3			1							177	50	11	4	
3		1	1	4	3	6	4	4	3	2	2					1					217	60	19	2	
4			2	2	3	2	4	2	7	3	2		1	2							241	72	20	2	1
5			1	3	2	5	5	4	3	4	3	1									234	68	22	1	
6			1	2	3	5	4	4	7	1	1	2									224	60	14	3	
7			1	2	5	5	6	3	1	1	5	1	1								231	74	18	3	
8			1		1	2	3	9	4	4	3	3						1			276	90	32	5	
9			3		2	5	5	3	5	2	4		1								230	75	16	3	
10		1		3	2	3	6	3	2	4	3	2		2							251	77	20	12	
11	1	1		1	3	2	4	5	3	2		4	2	4							279	87	44	11	
12				3	3	2	2	2	2	5	4	3	2	2							291	95	31	8	2
合計	2	7	13	24	36	45	46	48	41	34	33	16	7	11		1		1		1	2,870	864	261	57	4

## 発生場所別・事故種別搬送人員

発生場所 事故種別	搬送人員	住 宅		公衆出入 場 所		仕事場		道 路		その他	
		うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外
急 病	1,650	1,181	469	399	40	24	6				
交通事故	124	1		6		116	1				1
一般負傷	316	194		77	1	29					15
そ の 他	557	73		451	26						7
合 計	2,647	1,449		933	67	169					29

- (注) 1 発生場所とは、事故等の発生した場所又は傷病者のいた場所をいう。  
 2 「住宅」とは、一般住宅及び高層住宅等で住居としている場所をいう。  
 3 「公衆出入場所」とは、百貨店、映画館、旅館、学校、駅構内等の人の集まる場所をいう。  
 4 「仕事場」とは、事務所、工場、作業所、各種事務所等の仕事をしている場所をいう。  
 5 「道路」とは、一般道、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋をいう。  
 6 「その他」とは、上記以外の場所で、公園、広場、空地、農地等をいう。  
 なお、発生場所が不明なものも含む。

## 覚知から収容までの時間

所要 時間 事故 種別	搬送人員		覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間別人員												収容 平均 時間
			10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		
	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	うち 管内	うち 管外	
急 病	1,650	1,030		3		135	23	1,127	664	373	331	12	12	51.6分	
交 通 事 故	124	66				6		86	36	32	30			51.2分	
一 般 負 傷	316	129		1		22		220	68	71	59	2	2	50.5分	
その他	557	487		2		94	65	399	367	61	54	1	1	42.2分	
合 計	2,647	1,712		6		257	88	1,832	1,135	537	474	15	15	49.5分	

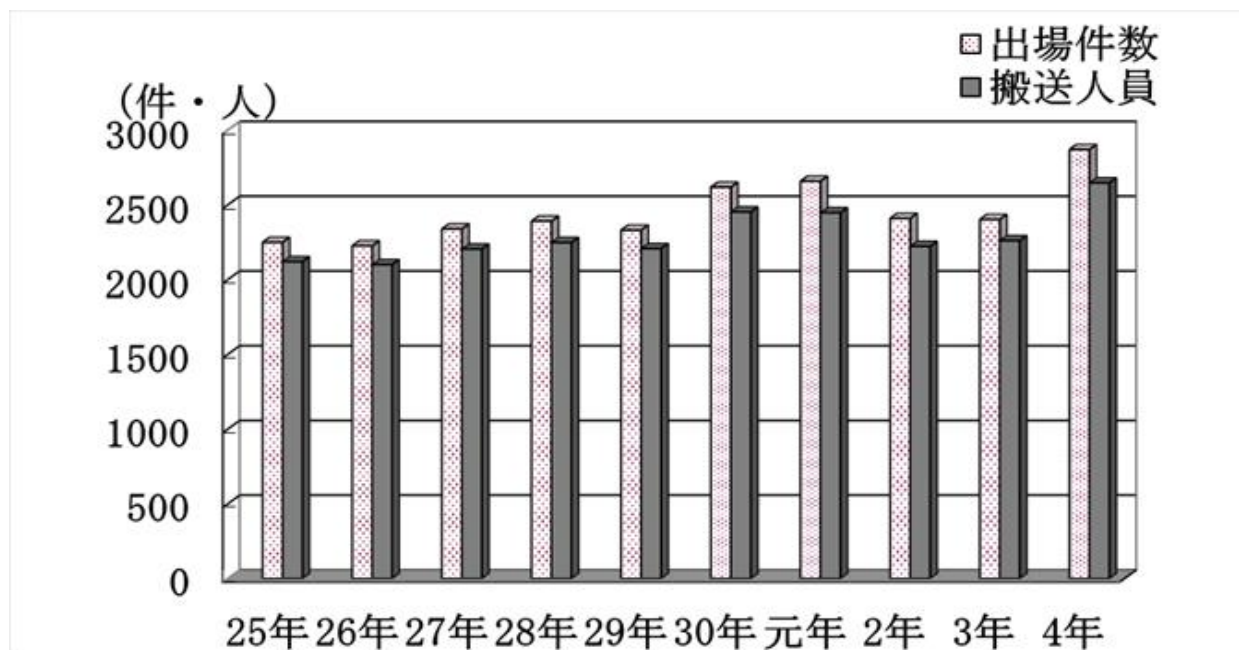
## 覚知から現場到着所要時間別出場件数

所要時間 事故種別	出場件数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着平均所要時間
急病	1,824	7	48	1215	537	17	8.6分
交通事故	126		8	72	44	2	9.0分
一般負傷	351		16	232	100	3	8.4分
その他	569		111	327	105	26	8.2分
合計	2,870	7	183	1,846	786	48	8.5分

## 覚知状況

覚知種別 件数・比率	合計	119番	一般加入	警察直通	駆け付け	自己覚知	その他
出場件数	2,870	2,663	124	49	6		28
比率 (%)	100%	92.7%	4.3%	1.7%	0.3%		1.0%

## 過去 10 年間の出場件数及び搬送人員の推移



年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年
出場件数	2,249	2,226	2,339	2,391	2,331	2,618	2,658	2,409	2,402	2,870
搬送人員	2,120	2,100	2,204	2,248	2,207	2,453	2,447	2,222	2,260	2,647

## 応急手当普及啓発活動状況

対象 区分	合計		教育機関		事業所等		防災組織		一般市民等		消防団		福祉・乳幼児施設	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
普通救命講習	6	56			3	29	2	16					1	11
※														
一般応急手当講習	30	404	4	74	7	81	1	40	2	26			16	183
※	19	239	3	53	7	65							9	121
応急手当普及員講習														
合計	36	460	4	74	10	110	3	56	2	26			17	194
※	19	239	3	53	7	65							9	121
指導者数	78		15		21		2		3				37	

※応急手当普及員が指導を行った回数及び受講人数

## 救助出場の状況

月別	出場件数	事故種別									出場人員	出場台数
		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他		
1	3	1					2				39	10
2	4	2	1	1							62	19
3	3	1	1				1				45	13
4	8	2	3					1		2	98	31
5	8	2	3			1	2				118	36
6	1	1									38	10
7	5	1	2				1			1	69	19
8	2		1							1	22	7
9	5	1	2				2				65	19
10	4	1	1				1			1	55	15
11	8	2	2				2			2	100	30
12	3	1	1			1					39	11
合計	54	15	17	1		2	11	1		7	750	220

## 事故種別救助活動件数及び救助人員

事故種別	救助活動件数	救助人員
火災	2	4
交通事故	7	8
水難事故	1	1
風水害等自然災害事故		
機械による事故	2	2
建物等による事故	8	8
ガス及び酸欠事故	1	1
破裂事故		
その他	1	1
合計	22	25



消 防 団





# 消 防 団 の 沿 革

- 昭和 14 年 4 月 勅令により消防組から警防団と改称
- 昭和 23 年 3 月 政令をもって新たに公布され現在の組織となる。  
7 月 消防法が公布
- 昭和 29 年 10 月 町村合併促進法により、1 町 6 か村(天童町、成生村、蔵増村、寺津村、津山村、山口村、田麦野村)が合併し新天童町消防団が誕生  
7 分団 38 部、団員 1,103 名、消防ポンプ自動車 6 台、三輪ポンプ自動車 2 台、手引き動力ポンプ 29 台、可搬動力ポンプ 5 台
- 昭和 33 年 10 月 市制施行、県下 10 番目
- 昭和 35 年 4 月 成生地区に消防ポンプ自動車(B S - I 型、トヨタ)を配置
- 昭和 36 年 3 月 寺津地区に消防ポンプ自動車(B S - I 型、日産)を配置
- 昭和 37 年 10 月 豊栄村が編入合併し、消防団の再編成を実施  
10 分団 58 部、団員数 1,427 人、消防ポンプ自動車 12 台、三輪ポンプ自動車 1 台、手引き動力ポンプ 34 台、可搬動力ポンプ 13 台
- 昭和 38 年 2 月 消防本部、消防団、日本消防協会から竿頭綬を授与  
3 月 千布地区(上萩野戸)に消防ポンプ自動車(B S - I 型、日産)を配置
- 昭和 39 年 1 月 高掬地区(堀端)に消防ポンプ自動車(B S - I 型、日産)、天童地区(久野本)に(B S - I 型、トヨタ)を配置  
3 月 消防本部、消防団、山形県知事から表彰旗を授与
- 昭和 40 年 5 月 消防団の再編成を実施、18 分団 59 部 74 班、団員数 1,335 人  
消防ポンプ自動車 16 台、手引き動力ポンプ 30 台、可搬動力ポンプ 23 台
- 昭和 47 年 11 月 団連絡車(三菱ウイルスワゴンジープ)を配置
- 昭和 48 年 4 月 分団組織を 18 分団から 10 分団に再編成し、人命救助隊を新たに編成
- 昭和 49 年 4 月 消防タンク車設置協会からタンク車(10t 水槽車、三菱)の寄贈を受ける。
- 昭和 53 年 6 月 天童市労務対策協議会からマイクロバスの寄贈を受け(救助車)を配置
- 昭和 56 年 10 月 高掬地区(中里)に小型動力ポンプを配置し、第 8 分団第 8 部を組織する。
- 昭和 57 年 10 月 第 8 回全国消防操法大会に第 5 分団第 3 部(温泉地区)が自動車ポンプ操法の部に出場
- 昭和 59 年 3 月 消防本部、消防団、消防庁長官から表彰旗を授受
- 昭和 62 年 10 月 天童地区(北久野本)に小型動力ポンプを配置し、第 1 分団第 6 部第 3 班を組織する。
- 昭和 63 年 9 月 日本消防協会から小型動力ポンプ積載車(トヨタ)が寄贈され、荒谷地区(荒谷原)に配置
- 平成 元年 4 月 消防本部の救助工作車更新に伴い、旧車を蔵増地区(矢野目)に小型動力ポンプ積載車として整備し配置
- 平成 3 年 11 月 団員の出動に備え、搬送車(公共応急作業車、マイクロバス、三菱)を配置
- 平成 5 年 5 月 平成 5 年度東北地区水防訓練(中山町最上川)に第 3 分団、第 4 分団が出場  
11 月 自治体消防発足 45 周年記念式典に団長以下 16 名参加
- 平成 7 年 8 月 災害に備え災害支援車(守る震災号、三菱)を配置
- 平成 8 年 12 月 高掬地区(堀端)に小型動力ポンプ積載車(日産)を配置
- 平成 9 年 7 月 消防団指揮車(日産、テラノ)を配置
- 平成 9 年 12 月 山口地区(乱川)に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置
- 平成 10 年 10 月 成生地区(大清水)に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置

- 平成 11 年 11 月 高掬地区(長岡)に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置
- 平成 13 年 4 月 田麦野地区の第 2 部と第 3 部を統合し第 2 部に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置
- 12 月 干布地区(原町)に小型動力ポンプ積載車(日産)を配置
- 平成 14 年 4 月 山口地区の第 7 分団第 2 部(渡戸)が廃部になる。
- 12 月 寺津地区(藤内新田)に小型動力ポンプ積載車を配置
- 平成 15 年 2 月 高掬地区(東芳賀)に第 8 分団第 9 部が新設され、小型動力ポンプを配置
- 12 月 山口地区(川原子)に小型動力ポンプ積載車(三菱)を配置
- 平成 17 年 12 月 天童地区(一日町)、高掬地区(東芳賀)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 平成 19 年 3 月 成生地区(高木)、津山地区(立宿)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 干布地区(片羽)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 平成 20 年 11 月 天童地区(北目)、山口地区(上山口)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 平成 21 年 10 月 蔵増地区(窪野目)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 平成 22 年 10 月 津山地区(上貫津)、高掬地区(芳賀)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 平成 23 年 12 月 山口地区(道満)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 平成 24 年 3 月 消防審議会の答申を受け、平成 28 年度までの 5 か年計画により天童市消防団再編計画を策定
- 11 月 干布地区(石倉)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 平成 25 年 4 月 天童市消防団再編計画に基づき、蔵増地区(第 3 分団)が 8 部 8 班体制、干布地区(第 9 分団)が 6 部 8 班体制となる。
- 10 月 天童市消防団が組織されて以来、初となる女性消防隊を発足(隊長以下 4 名)
- 11 月 消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会(東京ドーム)に団長以下 27 名参加
- 平成 26 年 3 月 成生地区(小関)、蔵増地区(塚野目)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 4 月 天童市消防団再編計画に基づき、寺津地区(第 4 分団)が 2 部 4 班体制となる。
- 平成 27 年 4 月 天童市消防団再編計画に基づき、成生地区(第 2 分団)が 8 部 8 班体制、田麦野地区(第 6 分団)が 1 部 2 班体制、干布地区(第 9 分団)が 6 部 7 班体制となる。
- 平成 28 年 4 月 天童市消防団再編計画に基づき、山口地区(第 7 分団)が 11 部 14 班体制となる。
- 平成 29 年 4 月 天童市消防団再編計画に基づき、成生地区(第 2 分団)が 7 部 8 班体制、山口地区(第 7 分団)が 11 部 12 班体制、干布地区(第 9 分団)が 6 部 6 班体制となり、高掬地区の第 8 分団第 8 部と第 9 部を新設する第 11 分団(長岡地区)2 部 2 班体制に、高掬地区(第 8 分団)は 3 部 7 班体制になる。
- 平成 30 年 3 月 山口地区(原崎)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 4 月 天童市消防団再編計画に基づき、天童中部地区(第 1 分団)が 4 部 4 班体制、山口地区(第 7 分団)が 10 部 11 班体制となり、天童南部地区(第 12 分団)4 部 4 班体制、天童北部地区(第 13 分団)2 部 3 班体制を新設する。
- 11 月 長岡地区(中里)に消防ポンプ自動車を配置
- 令和 2 年 3 月 山口地区(小原)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
- 令和 4 年 3 月 成生地区(向原)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置

# 歴代消防団長

(昭和29年10月 町村合併以降)

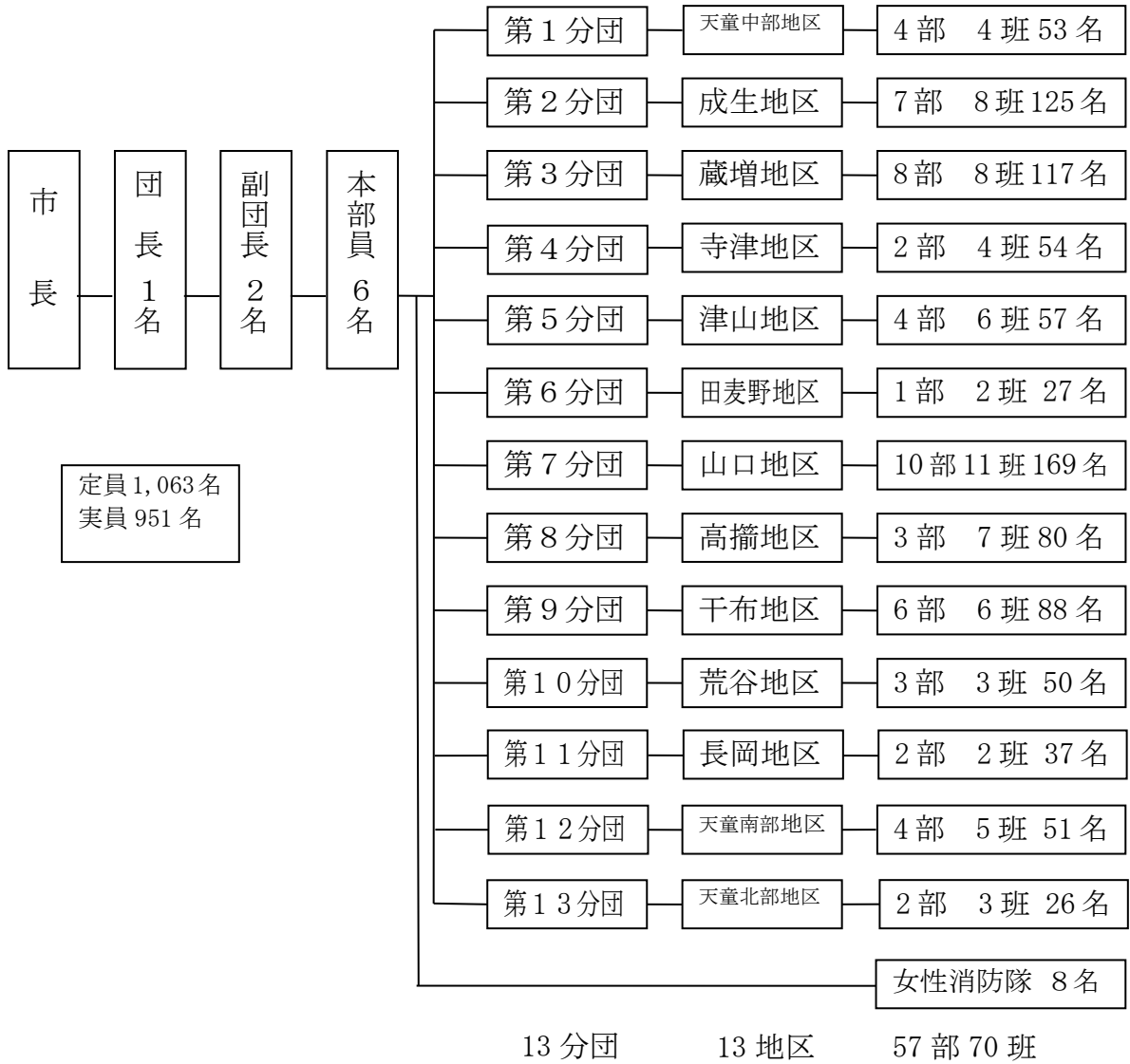
代	氏名	期間
初代	鈴木清吉	昭和29年10月～昭和44年 3月
2代	安喰幸一郎	昭和44年 4月～平成11年 3月
3代	赤塚二男	平成11年 4月～平成18年 4月
4代	新関謙司	平成18年 5月～平成27年 3月
5代	武田正悦	平成27年 4月～ 現 在

# 歴代消防副団長

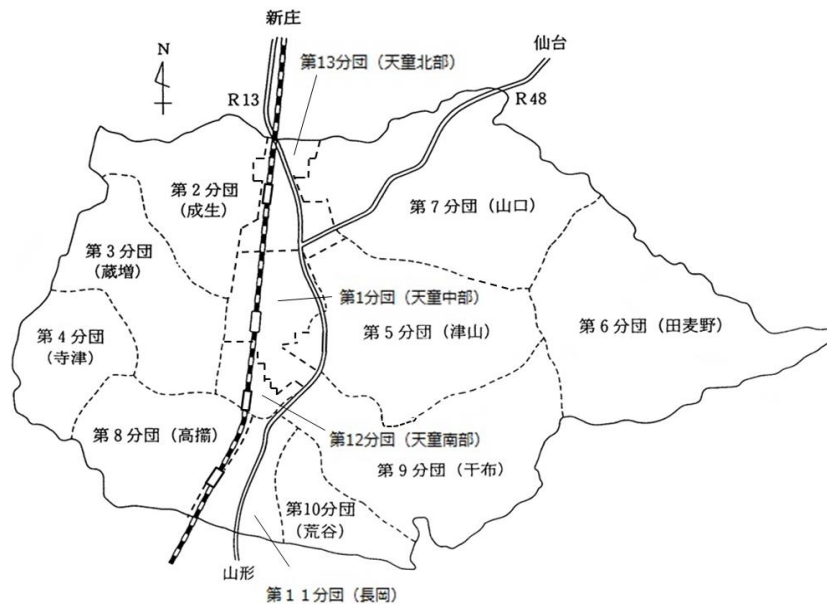
(昭和29年10月 町村合併以降)

	氏名	期間
町村合併	新関吉雄	昭和29年10月～昭和32年 8月
	近野忠市	昭和29年10月～昭和36年10月
豊栄村合併	奥山保	昭和37年10月～昭和39年 5月
	安喰幸一郎	昭和37年10月～昭和44年 3月
	菱沼盛男	昭和44年 4月～昭和45年 3月
	野口直吉	昭和36年6月14日～昭和44年3月31日 昭和45年4月 1日～平成11年3月31日
	赤塚二男	昭和52年4月 1日～平成11年3月31日
	垂石祐孝	平成11年4月 1日～平成17年7月31日
	新関謙司	平成11年4月 1日～平成18年4月30日
	林克巳	平成17年10月1日～平成23年5月20日
	武田正悦	平成18年7月 1日～平成27年3月31日
	山口孝	平成27年4月 1日～平成29年3月31日
	赤塚雄二	平成24年4月 1日～ 現 在
	滝口雅一	平成29年4月 1日～ 現 在

# 消防団の組織図



# 消防分団管轄図



## 年齢及び階級別消防団員数

(人)

年齢 \ 階級	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
18 歳								
19 "								
20 "	1							1
21 "	3							3
22 "	4							4
23 "	3							3
24 "	11							11
25 "	9							9
26 "	12							12
27 "	22							22
28 "	21							21
29 "	14							14
30 "	26							26
31 "	21					2	1	18
32 "	24						2	22
33 "	29					1	1	27
34 "	35					3	3	29
35 "	51					6	3	42
36 "	50					5	2	43
37 "	43				1	4	5	33
38 "	63				1	2	8	52
39 "	66			2	1	7	9	47
40 "	45					3	6	36
41 "	62			1		5	2	54
42 "	37			3	1	4	3	26
43 "	51			1	1	3	2	44
44 "	50			1	1	1	6	41
45 "	43			1	2	1	5	34
46 "	36					2	2	32
47 "	16				1	1	2	12
48 "	14					3	1	10
49 "	17			2		1	1	13
50～54 "	41		1	4	4	1	3	28
55～59 "	20	1	1	4		1	1	12
60 歳以上	11					1		10
合計	951	1	2	19	13	57	68	791

# 消 防 団 員 の 報 酬 等

(円)

報 酬 年 額 (一人当りの額)						
団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
116,000	82,500	53,000	45,500	38,000	37,000	36,500

出 動 手 当 等 (一人当たり)		機 関 手 当 (一台当たり)	
訓練等手当	救 助 隊 員	自 動 車	小 型 動 力
951 人	179 人	45 台(30 台)	24 台
5,500	2,000	10,000	5,000

( )は小型ポンプ積載車

## 在 職 年 数 別 消 防 団 員 数

(人)

区 分	合 計	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上
消防団員	<b>951</b>	129	213	223	198	126	39	23

## 消 防 団 員 の 退 職 ・ 新 任 状 況

(人)

退職団員数 5.3.31	在 職 年 数						
	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上
65	5	10	8	20	17	2	3

新任団員数 5.4.1	入 団 年 齢						
	21 歳未満	21 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 35 歳	36 歳～ 40 歳	41 歳～ 45 歳	46 歳以上
16	1	4	4	6	0	0	1

# 消防団機械器具の現有状況

第1分団（天童中部地区）

令和5年4月1日現在

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
1-1 久野本	消防ポンプ 自動車	R2年9月 いすゞ	CD-I型 A-2級	2年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
1-2 老野森	消防ポンプ 自動車	H9年1月 三菱ふそう	CD-I型 A-2級	26年	太平興業(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
1-3 本町	小型動力 ポンプ	H21年10月 ラビット・P456	B-3級 38kW	13年	(株)マキタ沼津 日本防災工業(株)山形営業所	地域活性化事業
1-4 小路	小型動力 ポンプ	H18年12月 トーハツ・VC42A(S)	B-3級 30kW	16年	トーハツ(株) (株)辰商会	一般単独事業
合計	消防ポンプ自動車 2台		小型動力ポンプ付積載車 0台		小型動力ポンプ 2台	

第2分団（成生地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
2-1 小関	小型動力ポン プ付積載車	H21年9月ラビット H26年3月ダイハツ軽	B-3級 38kW	13年 9年	(株)マキタ沼津 (株)長谷川ポンプ製作所	地域活性化事業 道路局所管補助事業
2-2 高木	小型動力ポン プ付積載車	S62年7月トーハツV38C H19年3月スバル軽	B-3級 33PS	35年 16年	トーハツ(株) 日本防災工業(株)山形営業所	防災まちづくり事業 一般単独事業
2-3 成生（西）	小型動力 ポンプ	H2年11月 トーハツ・V38C	B-3級 33PS	32年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
2-4 大清水	小型動力ポン プ付積載車	H21年9月トーハツ H10年10月トヨタ付	B-3級 34kW	13年 24年	トーハツ(株) 小林産業	地域活性化事業 一般単独事業
2-5-1 大町	小型動力 ポンプ	H14年1月 トーハツ・VC72AS	B-2級 62PS	21年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
2-5-2 今町	小型動力 ポンプ	S60年3月 トーハツ・V38B	B-3級 33PS	38年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	大震災火災補助事業
2-7 成生（東）	消防ポンプ 自動車	H12年3月 トヨタ	CD-I型 A-2級	23年	山形トヨタ(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
2-8 向原	小型動力ポン プ付積載車	R4年3月トーハツVF63AS R4年3月ダイハツ軽	B-2級 22KW	1年 1年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
合計	消防ポンプ自動車 1台		小型動力ポンプ付積載車 4台		小型動力ポンプ 3台	

第3分団（蔵増地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
3-1 塚野目	小型動力ポン プ付積載車	H9年1月トーハツ H26年3月ダイハツ軽	B-3級 37PS	26年 9年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業 道路局所管補助事業
3-2 矢野目	小型動力ポン プ付積載車	H21年10月ラビット H17年12月トヨタ	B-3級 38kW	13年 17年	(株)マキタ沼津 (株)長谷川ポンプ製作所	地域活性化事業 一般単独事業
3-3 小矢野目	小型動力 ポンプ	H20年11月 シパウラ・SF651Z	B-3級 34kW	14年	石川島芝浦機械(株) 近藤防災(株)	一般単独事業
3-4 南区	消防ポンプ 自動車	H30年11月 いすゞ	CD-I型 A-2級	4年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	国庫補助事業
3-5 中区	小型動力 ポンプ	S58年9月 トーハツ・V38B	B-3級 33PS	39年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	大震災火災補助事業
3-6 北区	小型動力ポン プ付積載車	H26年3月トーハツ H8年12月日産	B-3級 30kW	9年 26年	トーハツ(株) 小林産業	一般単独事業 一般単独事業
3-7 高野辺	小型動力 ポンプ	R2年11月 シパウラ・FK500	B-2級 33kW	2年	(株)シパウラ防災制作所 近藤防災(株)	緊急防災・減災事業
3-8 窪野目	小型動力ポン プ付積載車	S60年3月トーハツ H21年10月三菱軽	B-3級 33PS	38年 13年	トーハツ(株) 近藤防災(株)	大震災火災補助事業 地域活性化事業
合 計	消防ポンプ自動車 1台		小型動力ポンプ付積載車 4台		小型動力ポンプ 3台	

第4分団（寺津地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
4-1-1 寺津（東）	消防ポンプ 自動車	H21年11月 日野自動車	CD-I型 A-2級	13年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
4-1-2 寺津（西）	小型動力 ポンプ	H2年11月 トーハツ・V38C	B-3級 33PS	32年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	国庫補助事業
4-2-1 藤ノ瀬田（北）	小型動力ポン プ付積載車	S59年7月トーハツ・V38B H14年12月日産	B-3級 33PS	38年 20年	(株)一辰商会 山形日産天童	一般単独事業
4-2-2 藤ノ瀬田（南）	小型動力 ポンプ	H19年8月 ラビット・P455DAN	B-3級 34kW	15年	富士ロビン(株) 日本防災工業(株)山形営業所	一般単独事業
合 計	消防ポンプ自動車 1台		小型動力ポンプ付積載車 1台		小型動力ポンプ 2台	

第5分団（津山地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
5-1-1 立宿	小型動力ポン プ付積載車	H21年9月トーハツ H19年3月スバル軽	B-3級 34kW	13年 16年	トーハツ(株) 日本防災工業(株)山形営業所	地域活性化事業 一般単独事業
5-1-2 若松	小型動力 ポンプ	H26年3月 トーハツ・VC42AS	B-3級 30kW	9年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
5-2 下貫津	小型動力ポン プ付積載車	H19年8月ラビットP445 H14年12月ニッサンアトラス	B-3級 34kW	15年 20年	日本防災工業(株)山形営業所 山形日産天童	一般単独事業
5-3-1 温泉	消防ポンプ 自動車	H27年3月 トヨタダイナ	CD-I型 A-2級	8年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
5-3-2 関の上	小型動力 ポンプ	H17年12月 トーハツ・VC42A	B-3級 34kW	17年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
5-4 上貫津	小型動力ポン プ付積載車	H7年12月ラビットP450 H22年10月ダイハツ軽	B-3級 36PS	27年 12年	富士ロビン(株) (株)一辰商会	国庫補助事業 道路局所管補助事業
合 計	消防ポンプ自動車 1台		小型動力ポンプ付積載車 3台		小型動力ポンプ 2台	



第6分団（田麦野地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
6-1-1 田麦野（日陰）	小型動力ポン プ付積載車	R3年11月トーハツVF63AS R3年11月トーハツVF21B R3年11月トヨタ付	B-2級 22kW C-1級 7.3kW	1年 1年 1年	トーハツ(株) トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
6-1-2 田麦野（日向）	小型動力ポン プ付積載車	H2年11月トーハツ・V38C H12年11月トヨタ	B-3級 33PS	32年 22年	トーハツ(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
合計	消防ポンプ自動車 0台		小型動力ポンプ付積載車 2台		小型動力ポンプ 0台	

第7分団（山口地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
7-1 上山口	小型動力ポン プ付積載車	H18年12月トーハツ H20年10月ダイハツ軽	B-3級 34kW	16年 14年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
7-3 中山口	小型動力 ポンプ	S60年9月 トーハツ・V38B	B-3級 33PS	37年	トーハツ(株) (株)一辰商会	国庫補助事業
7-4 下山口（南）	消防ポンプ 自動車	H13年3月 日産ディーゼル	CD-I型 A-2級	22年	東北日産ディーゼル(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
7-5 下山口（北）	消防ポンプ 自動車	H6年9月 三菱キャンター	CD-I型 A-2級	28年	太平興業(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
7-6 二子沢	小型動力 ポンプ	S61年10月 ラビット・P407R	B-3級 34PS	36年	富士ロビン(株) 今川ポンプ(株)	防災まちづくり事業
7-7 原崎	小型動力ポン プ付積載車	H30年3月シバウラ H30年3月スズキ軽	B-3級 32kW	5年	(株)シバウラ防災制作所 近藤防災(株)	緊急防災・減災事業
7-8 川原子	小型動力ポン プ付積載車	H2年11月トーハツ・V38C H15年12月三菱軽	B-3級 33PS	32年 19年	トーハツ(株) 近藤防災(株)	一般単独事業 国庫補助事業
7-9-1 谷地中	小型動力 ポンプ	S62年7月 トーハツ・V38C	B-3級 33PS	35年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業
7-9-2 荒井原	小型動力 ポンプ	H20年11月 シバウラ・SF651Z	B-3級 34kW	14年	石川島芝浦機械(株) 近藤防災(株)	一般単独事業
7-10 小原	小型動力ポン プ付積載車	R2年3月トーハツ R2年3月ダイハツ	B-3級 37PS	3年 3年	トーハツ(株) 日本防災工業(株)山形営業所	緊急防災・減災事業
7-11 道満	小型動力ポン プ付積載車	H21年10月ラビットP456 H23年12月スバル軽	B-3級 38kW	13年 11年	(株)マキタ沼津 日本防災工業(株)山形営業所	地域活性化事業 地域活性化事業
合計	消防ポンプ自動車 2台		小型動力ポンプ付積載車 5台		小型動力ポンプ 4台	

第8分団（高嶺地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
8-1-1 西楯	小型動力 ポンプ	S60年9月 トーハツ・V38B	B-3級 33PS	37年	トーハツ(株) (株)一辰商会	国庫補助事業
8-1-2 高嶺	小型動力ポン プ付積載車	H30年2月トヨタ H30年2月VF63AS-R	B-2級 22kw	5年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
8-2-1 堀端	消防ポンプ 自動車	H7年11月 三菱キャンター	CD-I型 A-2級	27年	今川ポンプ(株)	一般単独事業
8-2-2 金谷	小型動力 ポンプ	S61年10月 ラビット・P407R	B-3級 34PS	36年	富士ロビン(株) 今川ポンプ(株)	防災まちづくり事業
8-3-1 清池	小型動力 ポンプ	S62年7月 トーハツ・V38C	B-3級 33PS	35年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業
8-3-2 長岡	消防ポンプ 自動車	H14年3月 いすゞエルフ	CD-I型 A-2級	21年	日本機械工業(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
8-3-3 芳賀	小型動力ポン プ付積載車	S60年3月トーハツ・V38B H22年10月ダイハツ軽	B-3級 33PS	38年 12年	トーハツ(株) (株)一辰商会	大震災補助事業 道路局所管補助事業
合計	消防ポンプ自動車 2台		小型動力ポンプ付積載車 2台		小型動力ポンプ 3台	

第9分団（干布地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
9-1 奈良沢	消防ポンプ 自動車	H30年2月 いすゞ	CD-I型 A-2級	5年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
9-2 原町	小型動力ポン プ付積載車	H12年3月ラビットP455 H13年12月日産アラス	B-3級 33kW	23年 21年	今川ポンプ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
9-3 上荻野戸	小型動力ポン プ付積載車	H23年12月トーハツ・VC62AS-R H23年12月トヨタダイナ	B-3級 43kw	11年 11年	トーハツ(株) (株)一辰商会	一般単独事業
9-4 石倉	小型動力ポン プ付積載車	H1年3月ラビットP405R H24年11月ダイハツ軽	B-3級 34PS	34年 10年	今川ポンプ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業 一般単独事業
9-5 出田原	小型動力 ポンプ	H21年10月 ラビット・P456	B-3級 38kW	13年	(株)マキタ沼津 日本防災工業(株)山形営業所	地域活性化事業
9-6 片羽	小型動力ポン プ付積載車	H1年3月ラビット・P407 H19年11月ダイハツ軽	B-3級 34PS	34年 15年	今川ポンプ(株) (株)一辰商会	防災まちづくり事業 一般単独事業
合計	消防ポンプ自動車 1台		小型動力ポンプ付積載車 4台		小型動力ポンプ 1台	

第10分団（荒谷地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
10-1 荒谷	消防ポンプ 自動車	R4年12月 いすゞ	CD-I型 A-2級	0年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
10-2 上荒谷	消防ポンプ 自動車	H9年11月 三菱ふそう	CD-I型 A-2級	25年	太平興業(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
10-3 荒谷原	小型動力ポン プ付積載車	R3年1月トーハツ R3年1月ダイハツ軽	B-2級 39kw	2年 2年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
合計	消防ポンプ自動車 2台		小型動力ポンプ付積載車 1台		小型動力ポンプ 0台	

第11分団（長岡地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
11-1 中里	消防ポンプ 自動車	H30年11月 いすゞ	CD-I型 A-2級	4年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	国庫補助事業
11-2 東芳賀	小型動力ポン プ付積載車	H15年2月トーハツ・VC52A H17年12月三菱軽	B-3級 34kW	20年 17年	トーハツ(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
合計	消防ポンプ自動車 1台		小型動力ポンプ付積載車 1台		小型動力ポンプ 0台	

第12分団（天童南部地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
12-1-1 五日町	消防ポンプ 自動車	H19年11月 トヨタダイナ	CD-I型 A-2級	15年	日本機械工業(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
12-1-2 三日町	小型動力 ポンプ	R2年11月 シバウラ・FK500	B-2級 33kw	2年	(株)シバウラ防災制作所 近藤防災(株)	緊急防災・減災事業
12-2 一日町	小型動力ポン プ付積載車	H1年3月ラビット H17年12月三菱軽	B-3級 34PS	34年 17年	富士ロビン(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
12-3 北目	小型動力ポン プ付積載車	H25年11月ラビット H20年10月ダイハツ軽	B-3級 32kW	9年 13年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
12-4 田鶴町	小型動力 ポンプ	H1年3月 ラビット・P407R	B-3級 34PS	34年	富士ロビン(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
合計	消防ポンプ自動車 1台		小型動力ポンプ付積載車 2台		小型動力ポンプ 2台	

第13分団（天童北部地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備考
13-1 乱川	小型動力ポン プ付積載車	H7年12月ラビットP450 H9年12月日産	B-3級 36PS	27年 25年	今川ポンプ(株) 小林産業	県費補助事業 一般単独事業
13-2-1 北久野本	小型動力 ポンプ	S62年7月 トーハツ・V38C	B-3級 27PS	35年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業
13-2-2 天童原	小型動力 ポンプ	S59年3月 ラビット・P407A	B-3級 34PS	39年	富士ロビン(株) 今川ポンプ(株)	大震災補助事業
合計	消防ポンプ自動車 0台		小型動力ポンプ付積載車 1台		小型動力ポンプ 2台	



